

2024
10月

Okinawa Convention & Visitors Bureau

OCVB News

季刊版



■OCVBホームページ

<https://www.ocvb.or.jp/>

■70周年記念事業

<https://www.ocvb.or.jp/70th>

【観光客の皆様向け情報】

■沖縄観光情報WEBサイト おきなわ物語

<https://www.okinawastory.jp/>



ごあいさつ



一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー
会長 下地 芳郎

平素より沖縄の観光振興に格別なるご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

2024年の観光客数予測について、国内入域客数は2019年（暦年）の過去最高を上回る見込みですが、海外入域客数は、まだ回復途上です。なお外国人観光客については、国内線経由で来沖されている方々も多く、欧米系の観光客も増えていることがわかってきました。

2024年度下期においては、国際線も徐々に便数を回復し、入域観光客数のさらなる回復が見込まれています。引き続き、インバウンド対策の強化、エシカルトラベルの推進、観光人材育成、観光危機管理など多岐にわたる取り組みをより一層強化致します。また、消費単価の向上・滞在日数の延伸を目指して、アドベンチャーツーリズム・ワーケーションなど高付加価値型観光を推進してまいります。

また、9月26日～9月29日の4日間にわたり「ツーリズムEXPOジャパン2024」が東京ビッグサイトで開催されました。今年の沖縄ブースは全17団体が出展し、「#おかえり沖縄」をテーマとし、なつかしさを感じる古民家を再現したブースにて、エイサーや三線の演奏など沖縄らしさを感じられるコンテンツを発信しました。また、ツーリズムEXPOジャパンが開催する第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」において、OCVBが取り組む持続可能な観光地プロモーション「エシカルトラベルオキナワ」が「UN Tourism特別賞」を受賞いたしました。引き続き、沖縄の自然環境・伝統・産業を尊重しながら観光客と県民の相互満足度の向上を目指してまいります。

当財団は「広域連携DMO」の役割である観光地経営の司令塔として、多様な関係者との連携に取り組み、沖縄県が目指す「世界から選ばれる持続可能な観光地」の実現と、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献していきます。

2024年10月



①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年4～8月実績、9月～11月見通し）

			4-6月計	7月(実績)	8月(実績)	9月(予測)	7-9月計	4-9月計	10月(予測)	11月(予測)	
2024年度	国内	空路	1,719,900	689,700	766,100	630,000	2,085,800	3,805,700	678,000	666,000	
		海路	12,600	2,600	2,400	2,700	7,700	20,300	3,800	3,500	
		合計	1,732,500	692,300	768,500	632,700	2,093,500	3,826,000	681,800	669,500	
	海外	空路	339,900	130,700	130,800	130,000	391,500	731,400	135,000	134,000	
		海路	138,300	89,000	100,700	61,000	250,700	389,000	74,000	65,000	
		合計	478,200	219,700	231,500	191,000	642,200	1,120,400	209,000	199,000	
	国内・海外合計		2,210,700	912,000	1,000,000	823,700	2,735,700	4,946,400	890,800	868,500	
	前年度比	国内	空路	98.7%	105.3%	121.9%	105.1%	110.8%	104.9%	101.6%	111.9%
			海路	60.3%	29.9%	68.6%	71.1%	48.1%	55.0%	71.7%	205.9%
合計			98.2%	104.3%	121.6%	104.8%	110.2%	104.4%	101.3%	112.1%	
海外		空路	177.4%	162.8%	182.7%	163.3%	169.1%	172.9%	171.1%	172.9%	
		海路	609.3%	255.0%	406.0%	225.9%	289.2%	355.6%	202.7%	477.9%	
		合計	223.1%	190.7%	240.1%	179.2%	201.8%	210.4%	181.1%	218.4%	
国内・海外合計		111.7%	117.1%	137.2%	116.0%	123.4%	117.9%	113.0%	126.2%		
19年度比		国内	空路	100.1%	105.5%	104.1%	106.9%	105.4%	102.9%	110.2%	111.7%
			海路	64.9%	37.7%	100.0%	207.7%	72.6%	67.7%	67.9%	87.5%
	合計		99.7%	104.8%	104.1%	107.1%	105.2%	102.7%	109.8%	111.6%	
	海外	空路	70.8%	75.1%	87.2%	107.6%	88.0%	79.1%	109.7%	136.9%	
		海路	41.1%	69.1%	75.8%	62.3%	69.7%	55.9%	68.9%	64.2%	
		合計	58.5%	72.6%	81.8%	87.3%	79.8%	69.1%	90.7%	99.9%	
	国内・海外合計		86.5%	94.6%	97.9%	101.8%	97.9%	92.5%	104.6%	108.7%	

(概況)

9月～11月の国内空路・海外空路の入域観光客数は、好調に推移している。

国内入域について、石垣・宮古を含む沖縄線は引き続き予約が好調に推移している。9月は一部路線において、台風13号、14号の影響があるものの、各月ともに連休を中心に予約が堅調に推移している。

海外入域について、空路は台北、韓国仁川、香港路線の予約が引き続き堅調に推移している。中国路線の予約率も改善傾向にある。24年度上半期の状況は、中国や東南アジアからの直行便の回復はまだ完全ではなく、2019年度と比べて78.6%の水準にとどまっているが、2023年度と比べると171.9%と大幅回復している。那覇空港など沖縄県内の空港への国際線の就航が、今後の回復に向けた重要な課題である。

海路は、引き続き海外クルーズが好調に推移している。9月までは台湾(基隆)からの寄港が多いが、10月にかけて香港や中国(上海・蛇口・南沙)、韓国(釜山)からの寄港も予定されている。10月以降は、那覇発着や横浜発着の国内クルーズも寄港予定である。24年度上半期の状況は、2019年度と比べて55.9%の水準にとどまっているものの、2023年度と比べると355.6%と大幅に回復している。

過年度実績については、沖縄県の[入域観光客概況](#)をご確認ください。

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（9月～11月見通し）

9月

国内

(空路) 63万人（23年9月対比 105.1%）と見込む。(海路) 2.7千人（23年9月対比 71.1%）の見通し。
国内クルーズは寄港なし。

海外

(空路) 13万人（23年9月対比 163.3%）となる見通し。

福州＝那覇路線

◆廈門航空：9月10日（火）新規就航（火・土）

(海路) 6.1万（23年9月対比225.9%）となる見通し。

中国（上海・南沙）や香港、台湾（基隆）などから、19回寄港予定。うち6回は石垣港のみ寄港。

10月

国内

(空路) 67.8万人（23年10月対比101.6%）と見込む。(海路) 入域客数は3.8千人（23年10月対比 71.7%）となる見通し。
国内クルーズは5回寄港予定。（東京・横浜・博多など）

海外

(空路) 13.5万人（23年10月対比171.1%）となる見通し。

台北＝那覇路線

◆中華航空：10月28日（火）週4便（月・火・木・土）からデイリー運航へ増便

釜山＝那覇路線

◆チェジュ航空：10月27日（日）新規就航（火・木・土）

(海路) 7.4万人（23年10月対比202.7%）となる見通し。

台湾（基隆）や香港、中国（上海・蛇口・南沙）などから17回寄港予定。

うち6回は石垣港のみ寄港。

11月

国内

(空路) 66.6万人（23年11月対比111.9%）と見込む。(海路) 3.5千人（23年11月対比205.9%）となる見通し。
国内クルーズは3回寄港予定。（東京・那覇）

海外

(空路) 13.4万人（23年11月対比 172.9%）となる見通し。(海路) 6.5万人（23年11月対比477.9%）となる見通し。

台湾（基隆・高雄）、中国（上海・蛇口）、韓国（釜山）などから14回寄港予定。

うち3回は石垣港のみ寄港。

(空路) 国内：県外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定のうち、観光客の混在率をかけたもの

海外：海外発沖縄県内空港着の搭乗旅客数想定

(海路) 国内：乗船客数想定のうち日本国籍のもの

海外：乗船客数想定のうち日本以外の国籍のもの

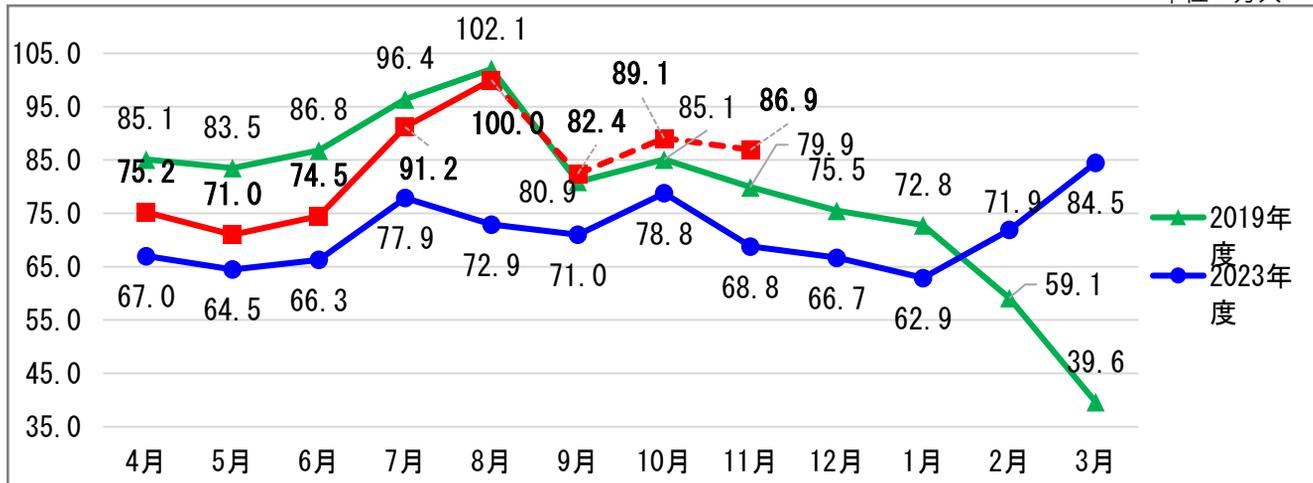
※国内クルーズ⇒発地が国内 海外クルーズ⇒発地が海外

①入域観光客数概況

1. 入域観光客数概況（24年4～7月実績、8月～10月見通し）グラフ

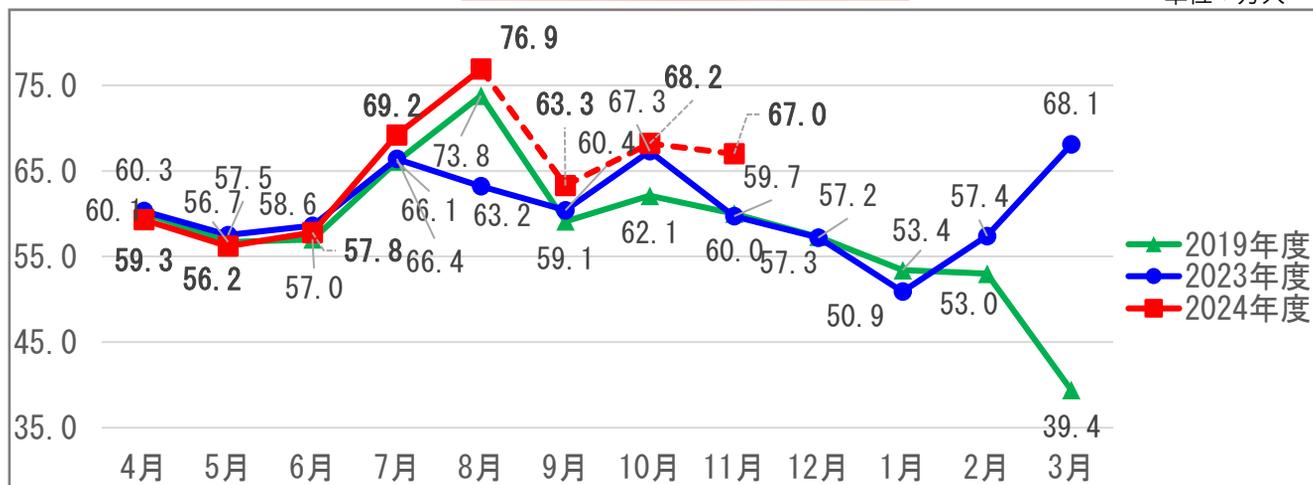
入域観光客（国内・海外合計）

単位：万人



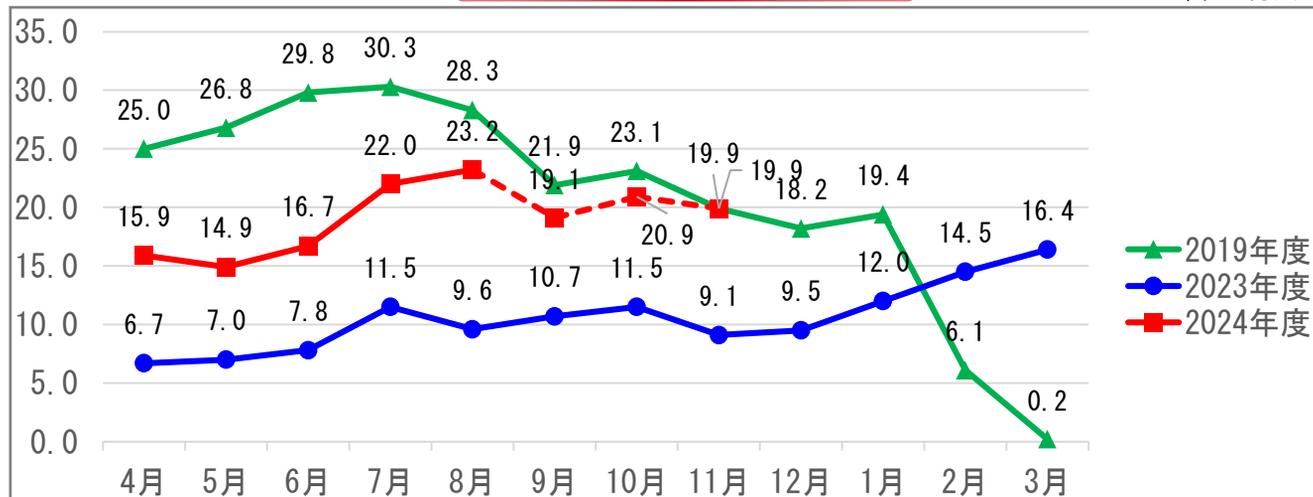
入域観光客（国内）

単位：万人



入域観光客（海外）

単位：万人



2024年度 入域数実績概況

数値引用／沖縄県観光政策課

1. 沖縄入域観光客数

総計	総計				空路/ 海路別	総計／空路				総計／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	752,300	112.3%	+82,500	669,800	4月	695,600	105.1%	+33,700	661,900	56,700	717.7%	+48,800	7,900
5月	710,400	110.1%	+65,200	645,200	5月	671,000	106.9%	+43,500	627,500	39,400	222.6%	+21,700	17,700
6月	748,000	112.8%	+84,600	663,400	6月	693,200	107.4%	+47,800	645,400	54,800	304.4%	+36,800	18,000
4-6月計	2,210,700	111.7%	+232,300	1,978,400	4-6月計	2,059,800	106.5%	+125,000	1,934,800	150,900	346.1%	+107,300	43,600
7月	912,000	117.1%	+133,200	778,800	7月	820,400	111.6%	+85,200	735,200	91,600	210.1%	+48,000	43,600
8月	1,000,000	137.2%	+271,400	728,600	8月	896,900	128.1%	+196,600	700,300	103,100	364.3%	+74,800	28,300
9月	0	0.0%	△710,100	710,100	9月	0	0.0%	△679,300	679,300	0	0.0%	△30,800	30,800
7-9月計	1,912,000	86.2%	△305,500	2,217,500	7-9月計	1,717,300	81.2%	△397,500	2,114,800	194,700	189.6%	+92,000	102,700
上期計	4,122,700	98.3%	△73,200	4,195,900	上期計	3,777,100	93.3%	△272,500	4,049,600	345,600	236.2%	+199,300	146,300
年度計	4,122,700	48.3%	△4,409,900	8,532,600	年度計	3,777,100	46.3%	△4,387,100	8,164,200	345,600	93.8%	△22,800	368,400

国内	国内客／合計				空路/ 海路別	国内客／空路				国内客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	593,400	98.4%	△9,700	603,100	4月	588,100	97.7%	△13,600	601,700	5,300	378.6%	+3,900	1,400
5月	561,500	97.6%	△13,800	575,300	5月	559,500	99.2%	△4,700	564,200	2,000	18.0%	△9,100	11,100
6月	577,600	98.6%	△8,100	585,700	6月	572,300	99.1%	△5,000	577,300	5,300	63.1%	△3,100	8,400
4-6月計	1,732,500	98.2%	△31,600	1,764,100	4-6月計	1,719,900	98.7%	△23,300	1,743,200	12,600	60.3%	△8,300	20,900
7月	692,300	104.3%	+28,700	663,600	7月	689,700	105.3%	+34,800	654,900	2,600	29.9%	△6,100	8,700
8月	768,500	121.6%	+136,300	632,200	8月	766,100	121.9%	+137,400	628,700	2,400	68.6%	△1,100	3,500
9月	0	0.0%	△603,500	603,500	9月	0	0.0%	△599,700	599,700	0	0.0%	△3,800	3,800
7-9月計	1,460,800	76.9%	△438,500	1,899,300	7-9月計	1,455,800	77.3%	△427,500	1,883,300	5,000	31.3%	△11,000	16,000
上期計	3,193,300	87.2%	△470,100	3,663,400	上期計	3,175,700	87.6%	△450,800	3,626,500	17,600	47.7%	△19,300	36,900
年度計	3,193,300	43.9%	△4,075,800	7,269,100	年度計	3,175,700	44.0%	△4,036,000	7,211,700	17,600	30.7%	△39,800	57,400

外国	外国客／合計				空路/ 海路別	外国客／空路				外国客／海路			
	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)		入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)	入域数 (人)	前年比 (%)	前年増減 (人)	前年実績 (人)
4月	158,900	238%	+92,200	66,700	4月	107,500	179%	+47,300	60,200	51,400	791%	+44,900	6,500
5月	148,900	213%	+79,000	69,900	5月	111,500	176%	+48,200	63,300	37,400	567%	+30,800	6,600
6月	170,400	219%	+92,700	77,700	6月	120,900	178%	+52,800	68,100	49,500	516%	+39,900	9,600
4-6月計	478,200	223%	+263,900	214,300	4-6月計	339,900	177%	+148,300	191,600	138,300	609%	+115,600	22,700
7月	219,700	191%	+104,500	115,200	7月	130,700	163%	+50,400	80,300	89,000	255%	+54,100	34,900
8月	231,500	240%	+135,100	96,400	8月	130,800	183%	+59,200	71,600	100,700	406%	+75,900	24,800
9月	0	0%	△106,600	106,600	9月	0	0%	△79,600	79,600	0	0%	△27,000	27,000
7-9月計	451,200	142%	+133,000	318,200	7-9月計	261,500	113%	+30,000	231,500	189,700	219%	+103,000	86,700
上期計	929,400	175%	+396,900	532,500	上期計	601,400	142%	+178,300	423,100	328,000	300%	+218,600	109,400
年度計	929,400	74%	△334,100	1,263,500	年度計	601,400	63%	△351,100	952,500	328,000	105%	+17,000	311,000

2. 沖縄離島入域観光客数／八重山、宮古、久米島、座間味村、渡嘉敷村

参考数値 ※数値引用元は各地域名横に記載
 ※各数値は、引用元が定めた統計手法により算出されているため、考え方に若干の相違があります。また各離島の数値と沖縄県総計とは一部重複している部分もあるため、参考数値としてご覧ください。
 ※数値公表のタイミングもそれぞれ異なります。空欄部分は、現在未発表となります。

< 沖縄離島の入域観光客数 >

● 沖縄県入域観光客数 総計					● 八重山 沖縄県八重山事務所					● 宮古 宮古島市観光工商部観光工商課				
2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023	
4月	752,300	112.3%	+82,500	669,800	4月	111,141	113.9%	+13,522	97,619	4月	90,264	129.1%	+20,367	69,897
5月	710,400	110.1%	+65,200	645,200	5月	92,691	101.3%	+1,198	91,493	5月	82,934	119.1%	+13,303	69,631
6月	748,000	112.8%	+84,600	663,400	6月	103,271	109.3%	+8,749	94,522	6月	94,942	129.0%	+21,346	73,596
4-6月計	2,210,700	111.7%	+232,300	1,978,400	4-6月計	307,103	108.3%	+23,469	283,634	4-6月計	268,140	125.8%	+55,016	213,124
7月	912,000	117.1%	+133,200	778,800	7月	142,047	109.4%	+12,257	129,790	7月	121,736	126.3%	+25,332	96,404
8月	1,000,000	137.2%	+271,400	728,600	8月	0	0.0%	△110,201	110,201	8月	128,698	140.7%	+37,260	91,438
9月	0	0.0%	△710,100	710,100	9月	0	0.0%	△114,277	114,277	9月	0	0.0%	△84,309	84,309
7-9月計	1,912,000	86.2%	△305,500	2,217,500	7-9月計	142,047	40.1%	△212,221	354,268	7-9月計	250,434	92.0%	△21,717	272,151
上期計	4,122,700	98.3%	△73,200	4,195,900	上期計	449,150	70.4%	△188,752	637,902	上期計	518,574	106.9%	+33,299	485,275
年度計	4,122,700	48.3%	△4,409,900	8,532,600	年度計	449,150	35.6%	△811,534	1,260,684	年度計	518,574	55.3%	△419,604	938,178

● 久米島 久米島町観光協会					● 座間味村 座間味村役場産業振興課					● 渡嘉敷村 渡嘉敷村商工観光課				
2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023		2024	前年比	前年増減	2023	
4月	3,302	110.4%	+310	2,992	4月	7,213	94.0%	△464	7,677	4月	9,174	99.3%	△61	9,235
5月	4,351	95.9%	△187	4,538	5月	9,040	116.0%	+1,244	7,796	5月	10,634	121.4%	+1,876	8,758
6月	7,010	98.1%	△137	7,147	6月	8,653	105.9%	+481	8,172	6月	12,460	128.5%	+2,761	9,699
4-6月計	14,663	99.9%	△14	14,677	4-6月計	24,906	105.3%	+1,261	23,645	4-6月計	32,268	116.5%	+4,576	27,692
7月	9,184	94.3%	△555	9,739	7月	17,018	126.1%	+3,524	13,494	7月	17,451	120.9%	+3,019	14,432
8月	12,832	100.3%	+32	12,800	8月	19,472	145.0%	+6,042	13,430	8月	21,069	149.8%	+7,004	14,065
9月	0	0.0%	△7,748	7,748	9月	0	0.0%	△12,463	12,463	9月	0	0.0%	△13,421	13,421
7-9月計	22,016	72.7%	△8,271	30,287	7-9月計	36,490	92.6%	△2,897	39,387	7-9月計	38,520	91.9%	△3,398	41,918
上期計	36,679	81.6%	△8,285	44,964	上期計	61,396	97.4%	△1,636	63,032	上期計	70,788	101.7%	+1,178	69,610
年度計	36,679	40.7%	△53,403	90,082	年度計	61,396	64.0%	△34,566	95,962	年度計	70,788	64.1%	△39,619	110,407

3. 入域数／航路別入域実績

※「海外その他」には乗務員等を一括計上

国内 海外	4月		5月		6月		4-6月計		7月		8月		9月		年度計			
	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	対前年 増減数	入域数	入域数 シェア	対前年 増減数	対前年 増減数 ランキング
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(%)	(人)	(人)
札幌	4,000	100	4,000	△100	3,900	△100	11,900	△100	4,100	△100	4,400	700	0	0	20,400	0.6%	+500	29
仙台	3,700	△400	3,500	△400	3,800	700	11,000	△100	5,200	1,400	5,300	2,100	0	0	21,500	0.6%	+3,400	14
福島	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	33	
新潟	2,000	△1,300	1,900	△1,000	0	0	3,900	△2,300	0	0	0	0	0	0	3,900	0.1%	△2,300	39
富山	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	33	
小松	2,900	300	2,500	△400	2,700	△500	8,100	△600	3,000	700	3,400	800	0	0	14,500	0.4%	+900	24
東京	286,200	△8,600	263,400	△3,700	278,900	△3,500	828,500	△15,800	347,800	14,400	373,800	60,600	0	0	1,550,100	42.2%	+59,200	2
茨城	3,100	△400	3,200	0	3,300	△100	9,600	△500	3,700	100	4,000	700	0	0	17,300	0.5%	+300	32
静岡	500	200	400	△100	0	0	900	+100	2,900	600	3,600	800	0	0	7,400	0.2%	+1,500	17
名古屋	51,000	△200	45,400	△5,900	47,200	△5,100	143,600	△11,200	56,700	△3,100	67,400	9,100	0	0	267,700	7.3%	△5,200	40
伊丹	38,600	△1,300	40,900	2,700	40,300	1,800	119,800	+3,200	48,000	5,300	55,000	12,300	0	0	222,800	6.1%	+20,800	7
関西	62,000	△3,200	62,200	△500	61,000	△2,700	185,200	△6,400	71,600	1,900	78,600	13,200	0	0	335,400	9.1%	+8,700	10
神戸	27,200	1,500	27,400	△900	27,400	1,600	82,000	+2,200	29,100	1,300	35,100	7,200	0	0	146,200	4.0%	+10,700	9
岡山	3,900	0	4,500	200	3,400	△200	11,800	+0	3,600	0	3,800	800	0	0	19,200	0.5%	+800	25
広島	4,100	△400	4,000	△100	4,800	1,000	12,900	+500	4,700	900	4,600	900	0	0	22,200	0.6%	+2,300	16
岩国	3,300	100	2,300	△400	2,600	300	8,200	+0	3,200	500	3,800	800	0	0	15,200	0.4%	+1,300	20
高松	5,600	400	6,100	1,600	4,500	900	16,200	+2,900	4,200	1,000	5,400	1,900	0	0	25,800	0.7%	+5,800	12
松山	3,200	△200	2,400	△600	2,700	100	8,300	△700	3,100	400	3,800	700	0	0	15,200	0.4%	+400	31
高知	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	33	
福岡	73,300	1,000	70,600	1,000	71,800	100	215,700	+2,100	81,800	7,400	94,600	19,800	0	0	392,100	10.7%	+29,300	6
北九州	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	33	
長崎	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	33	
熊本	3,200	△300	3,100	200	3,100	300	9,400	+200	3,700	300	3,800	700	0	0	16,900	0.5%	+1,200	22
大分	0	0	0	0	0	0	0	+0	0	0	0	0	0	0	0.0%	+0	33	
宮崎	2,700	△100	2,800	0	2,700	0	8,200	△100	3,000	500	3,500	900	0	0	14,700	0.4%	+1,300	20
鹿児島	10,600	800	10,900	500	10,100	500	31,600	+1,800	12,900	1,900	14,600	3,600	0	0	59,100	1.6%	+7,300	11
その他	2,300	2,300	0	△5,900	3,400	△3,200	5,700	△6,800	0	△6,700	0	△1,300	0	0	5,700	0.2%	△14,800	41
台湾	67,700	+40,100	52,000	+24,700	81,800	+51,500	201,500	+116,300	0	+0	0	+0	+0	+0	201,500	5.5%	+116,300	1
韓国	27,400	+9,000	35,200	+15,000	30,900	+8,300	93,500	+32,300	0	+0	0	+0	+0	+0	93,500	2.5%	+32,300	5
中国本土	16,000	+15,400	24,700	+24,100	16,400	+15,500	57,100	+55,000	0	+0	0	+0	+0	+0	57,100	1.6%	+55,000	3
香港	13,700	+5,800	17,300	+6,700	13,700	+300	44,700	+12,800	0	+0	0	+0	+0	+0	44,700	1.2%	+12,800	8
アメリカ	5,100	+2,100	1,800	+200	4,200	+2,200	11,100	+4,500	0	+0	0	+0	+0	+0	11,100	0.3%	+4,500	13
カナダ	1,200	+600	500	+100	700	+300	2,400	+1,000	0	+0	0	+0	+0	+0	2,400	0.1%	+1,000	23
イギリス	1,900	+500	500	+100	500	+100	2,900	+700	0	+0	0	+0	+0	+0	2,900	0.1%	+700	27
フランス	400	+300	300	+200	200	+100	900	+600	0	+0	0	+0	+0	+0	900	0.0%	+600	28
タイ	1,900	+100	1,600	+200	1,500	+1,100	5,000	+1,400	0	+0	0	+0	+0	+0	5,000	0.1%	+1,400	18
シンガポール	1,300	+1,000	1,400	+1,200	1,600	+1,200	4,300	+3,400	0	+0	0	+0	+0	+0	4,300	0.1%	+3,400	14
マレーシア	600	+200	400	+200	500	+400	1,500	+800	0	+0	0	+0	+0	+0	1,500	0.0%	+800	25
インドネシア	300	+200	200	+100	300	+200	800	+500	0	+0	0	+0	+0	+0	800	0.0%	+500	29
オーストラリア	1,400	+900	300	+0	800	+500	2,500	+1,400	0	+0	0	+0	+0	+0	2,500	0.1%	+1,400	18
その他※	20,000	+16,000	12,700	+6,200	17,300	+11,000	50,000	+33,200	0	+0	0	+0	+0	+0	50,000	1.4%	+33,200	4
総計	752,300	82,500	710,400	+65,200	748,000	+84,600	2,210,700	+232,300	692,300	+28,700	768,500	136,300	0	0	3,671,500	100.0%	+3,068,600	-

4. 修学旅行入込人数調査予測 (令和6年9月12日時点予約数 OCVB調査 回答数7/15社)

令和6年度教育旅行推進強化事業

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
H30	26,033 (218)	54,779 (429)	34,575 (217)	3,253 (27)	37 (1)	11,698 (67)	80,400 (382)	85,195 (389)	71,947 (386)	24,641 (122)	15,738 (104)	15,185 (86)	423,481 (2,428)
R5	14,750 (113)	37,324 (287)	26,245 (161)	2,909 (23)	165 (4)	6,802 (40)	64,998 (316)	80,797 (362)	50,816 (273)	14,175 (81)	16,856 (95)	11,603 (67)	327,440 (1,822)
R6	18,916 (140)	44,618 (336)	30,894 (199)	2,900 (23)	245 (4)	12,256 (54)	63,081 (308)	69,384 (311)	52,347 (273)	17,729 (92)	18,725 (95)	11,672 (71)	342,767 (1,906)

※()内は学校数

5. 入域数／エリア構成比 (24年度累計／同期比)

国内入域エリア別

	構成比	
	比率	前年差
東日本	51.4%	△0.8%
中部	8.4%	△0.8%
関西・中四国	25.1%	+1.1%
九州	15.1%	+0.4%

海外入域エリア別

	構成比	
	比率	前年差
台湾	42.1%	+0.3%
韓国	19.6%	△2.7%
中国本土	11.9%	+5.6%
香港	9.3%	△2.5%
海外その他	17.1%	△0.7%

6. 航空旅客輸送実績／需給バランス [数値について] ※国内数値は、沖縄県観光政策課発表より引用、外国数値はOCVB独自調査によるもの
 ※いずれも沖縄向け(定期路線、下り便)の数値
 ※国内は、チャーター便など不定期路線およびLCCの輸送実績が含まれていません
 ※外国は、チャーター便など不定期路線および各国一部航空会社の輸送実績が含まれていません

参考数値 ● 月ごとの供給/需要/利用率

		4月	5月	6月	4-6月計	7月	8月	9月	7-9月計	年度計	参考値 FSC・LCC内訳			
国内	提供座席	776,689	809,471	773,085	2,359,245	853,872	873,354	0	1,727,226	4,086,471				
	輸送実績	600,018	566,408	587,005	1,753,431	706,459	789,822	0	1,496,281	3,249,712				
	利用率	77.3	70.0	75.9	74.3	82.7	90.4		86.6	79.5				
海外	提供座席	114,047	114,228	116,410	344,685	128,975	135,874	0	264,849	609,534		令和6年8月	652,800	113,300
	輸送実績	99,011	100,385	107,340	306,736	116,261	119,752	0	236,013	542,749				
	利用率	86.8	87.9	92.2	0.0	90.1	88.1		0.0	89.0				
合計	提供座席	890,736	923,699	889,495	2,703,930	989,746	873,354	0	1,863,100	4,567,030		令和5年8月	516,000	112,700
	輸送実績	699,029	666,793	694,345	2,060,167	826,211	789,822	0	1,616,033	3,676,200				
	利用率	78.5	72.2	78.1	76.2	83.5	90.4		86.7	80.5				
											増減数	+136,800	+600	
											前年同月比	102.7%	83.6%	
											FSC・LCC比率	84.2%	15.8%	

参考数値 ● 路線別の供給/需要/利用率 (国内累計)

国内		輸送実績 (需要)				提供座席 (供給)				利用率			需給	概況
発地	着地	2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	同期比		2024年度 累計	2023年度 同期累計	増減	前年比 差異	
				前年比	増減			前年比	増減					
札幌	那覇	0	0		+0	0	0		+0					○
仙台	那覇	26,132	21,864	119.5%	+4,268	38,854	28,324	137.2%	+10,530	67%	77%	△10%	△18%	×
新潟	那覇	4,706	7,262	64.8%	△2,556	9,960	9,960	100.0%	+0	47%	73%	△26%	△35%	×
小松	那覇	17,630	16,590	106.3%	+1,040	25,080	24,090	104.1%	+990	70%	69%	+1%	+2%	○
茨城	那覇	20,986	20,690	101.4%	+296	26,904	25,842	104.1%	+1,062	78%	80%	△2%	△3%	△
羽田	那覇	1,312,955	1,242,036	105.7%	+70,919	1,622,562	1,547,146	104.9%	+75,416	81%	80%	+1%	+1%	○
羽田	宮古	110,221	114,554	96.2%	△4,333	122,805	155,651	78.9%	△32,846	90%	74%	+16%	+17%	○
羽田	石垣	145,897	132,769	109.9%	+13,128	167,940	167,882	100.0%	+58	87%	79%	+8%	+10%	○
羽田	久米島	6,278	4,672	134.4%	+1,606	8,085	6,930	116.7%	+1,155	78%	67%	+10%	+18%	○
羽田	下地島	23,531	21,671	108.6%	+1,860	26,727	26,019	102.7%	+708	88%	83%	+5%	+6%	○
静岡	那覇	9,046	7,026	128.8%	+2,020	12,117	10,458	115.9%	+1,659	75%	67%	+7%	+13%	○
東日本エリア計		1,677,382	1,589,134	105.6%	+88,248	2,061,034	2,002,302	102.9%	+58,732	81%	79%	+2%	+3%	○
名古屋	那覇	234,246	211,660	110.7%	+22,586	289,613	277,104	104.5%	+12,509	81%	76%	+4%	+6%	○
名古屋	宮古	29,647	24,608	120.5%	+5,039	36,452	33,311	109.4%	+3,141	81%	74%	+7%	+11%	○
名古屋	石垣	27,984	22,882	122.3%	+5,102	36,287	33,477	108.4%	+2,810	77%	68%	+9%	+14%	○
中部エリア計		291,877	259,150	112.6%	+32,727	362,352	343,892	105.4%	+18,460	81%	75%	+5%	+7%	○
伊丹	那覇	263,860	237,005	111.3%	+26,855	316,272	298,785	105.9%	+17,487	83%	79%	+4%	+5%	○
伊丹	宮古	0	2,222	0.0%	△2,222	0	3,298	0.0%	△3,298		67%		+0%	-
伊丹	石垣	6,553	6,295	104.1%	+258	8,300	8,536	97.2%	△236	79%	74%	+5%	+7%	○
関西	那覇	126,871	106,800	118.8%	+20,071	168,886	156,927	107.6%	+11,959	75%	68%	+7%	+11%	○
関西	宮古	50,552	40,666	124.3%	+9,886	63,584	58,399	108.9%	+5,185	80%	70%	+10%	+15%	○
関西	石垣	39,457	33,480	117.9%	+5,977	47,495	48,382	98.2%	△887	83%	69%	+14%	+20%	○
神戸	那覇	145,777	132,888	109.7%	+12,889	191,038	182,483	104.7%	+8,555	76%	73%	+3%	+5%	○
神戸	下地島	22,568	20,105	112.3%	+2,463	26,727	25,842	103.4%	+885	84%	78%	+7%	+9%	○
岡山	那覇	23,358	22,443	104.1%	+915	26,895	25,905	103.8%	+990	87%	87%	+0%	+0%	○
広島	那覇	26,996	24,230	111.4%	+2,766	31,225	28,073	111.2%	+3,152	86%	86%	+0%	+0%	○
岩国	那覇	18,582	16,936	109.7%	+1,646	25,066	23,794	105.3%	+1,272	74%	71%	+3%	+4%	○
高松	那覇	31,449	24,210	129.9%	+7,239	42,386	30,648	138.3%	+11,738	74%	79%	△5%	△8%	×
松山	那覇	18,410	17,952	102.6%	+458	25,066	24,069	104.1%	+997	73%	75%	△1%	△2%	△
関西・中四国エリア計		774,433	685,232	113.0%	+89,201	972,940	915,141	106.3%	+57,799	80%	75%	+5%	+7%	○
福岡	那覇	332,805	302,108	110.2%	+30,697	471,278	449,634	104.8%	+21,644	71%	67%	+3%	+5%	○
熊本	那覇	20,565	19,032	108.1%	+1,533	24,900	24,070	103.4%	+830	83%	79%	+4%	+5%	○
宮崎	那覇	72,305	69,865	103.5%	+2,440	88,466	91,334	96.9%	△2,868	82%	76%	+5%	+7%	○
鹿児島	那覇	30,122	27,152	110.9%	+2,970	42,173	39,254	107.4%	+2,919	71%	69%	+2%	+4%	○
与論	那覇	14,936	6,979	214.0%	+7,957	17,154	9,200	186.5%	+7,954	87%	76%	+11%	+28%	○
沖永良部	那覇	5,509	4,663	118.1%	+846	7,174	6,624	108.3%	+550	77%	70%	+6%	+10%	○
九州エリア計		476,242	429,799	110.8%	+46,443	651,145	620,116	105.0%	+31,029	73%	69%	+4%	+6%	○
国内/合計		3,219,934	2,963,315	108.7%	+256,619	4,047,471	3,881,451	104.3%	+166,020	80%	76%	+3%	+4%	○

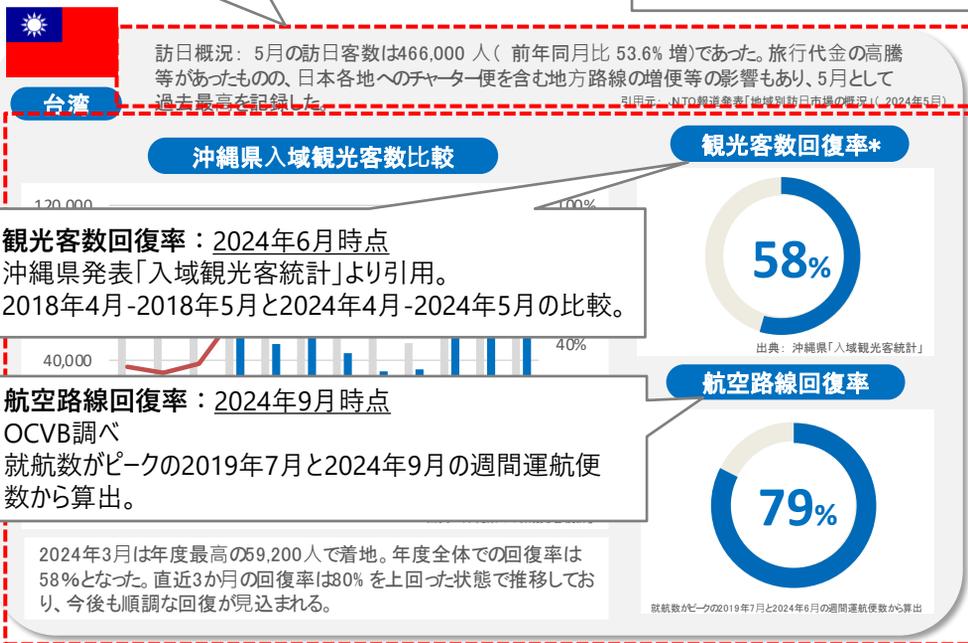
概況について ※一部実績が含まれていないため、参考としてください。
 ○ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を上回る
 △ 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(±0~▲%)
 × 実績(前年比)が、座席提供数(前年比)を下回る(▲5%以上)

※海外路線の情報に関しては、入域観光客数(国別)6pならびに就航便数17pでご確認ください。

市場別概況の表の見方

訪日概況：2024年8月時点
JNTO報道発表
「地域別訪日市場の概況」より引用。

沖縄県入域観光客数概況：2024年6月時点
沖縄県発表「入域観光客統計」より引用。
※法務省出入国在留管理庁公表資料を参照しているため、
3か月後の同庁の公表後に確定版として公表。



市場別概況



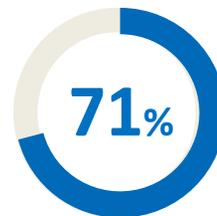
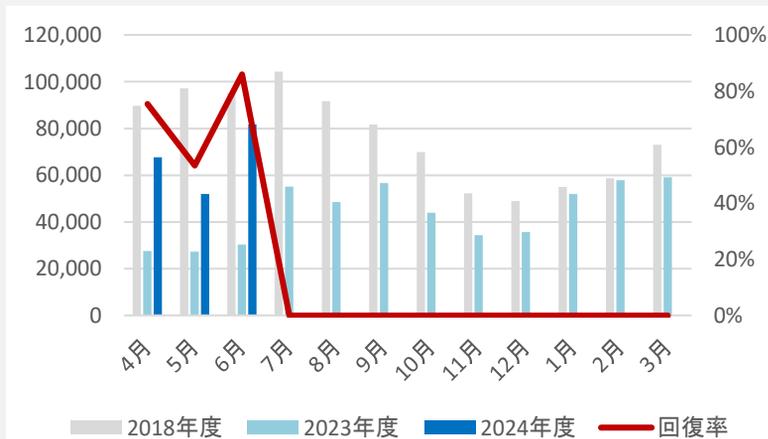
台湾

訪日概況：8月の訪日客数は564,300人（前年同月比42.4%増）であった。日本各地へのチャーター便を含む地方路線の増便、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

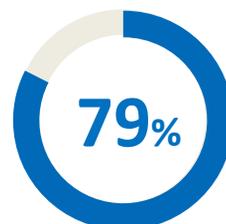
沖縄県入域観光客数比較

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出

2024年6月はタイエアアジアによるバンコク-台北-那覇路線の就航やクルーズ船の寄港があり、コロナ後初めて単月で80,000人を超え、回復率も80%を超えた。

出典：沖縄県「入域観光客統計」

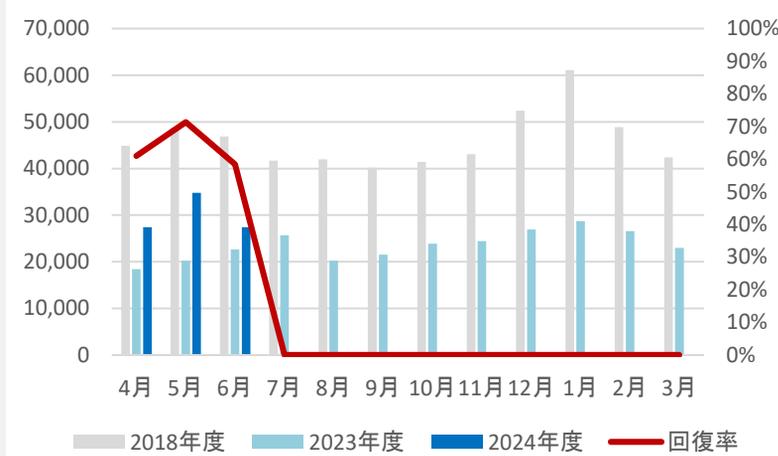


韓国

訪日概況：8月の訪日客数は612,100人（前年同月比7.6%増）であった。日本各地への地方路線の増便、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

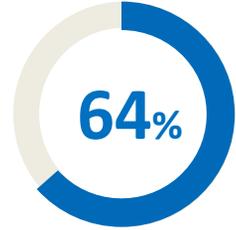
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

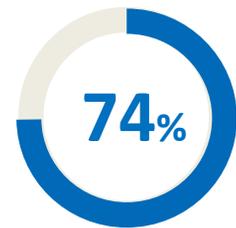
2024年5月29日にジンエアーによる仁川-下地島便が就航したが、一部航空会社の機材変更に伴い、供給座席数が減少した。（現在はもとの供給座席数に戻っている。）

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出

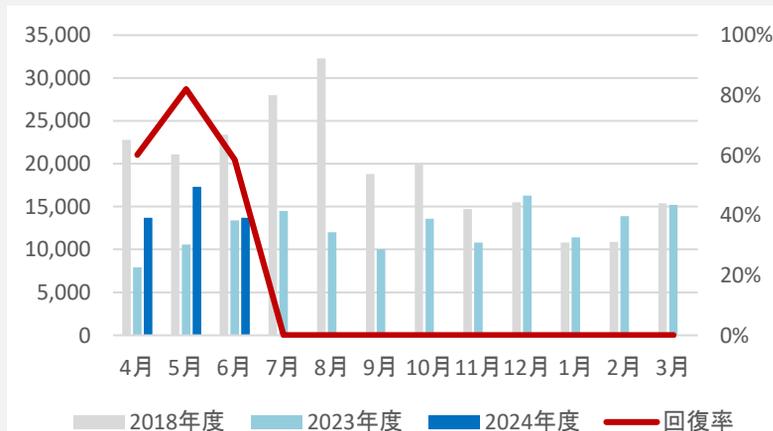


香港

訪日概況：8月の訪日客数は246,600人（前年同月比19.6%増）であった。日本各地へのチャーター便を含む地方路線の増便、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

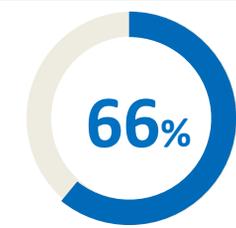
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

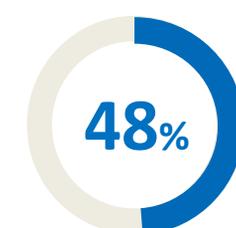
端午節があった5月より訪沖客数は減少したが、前年度の6月より若干増加した。

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出

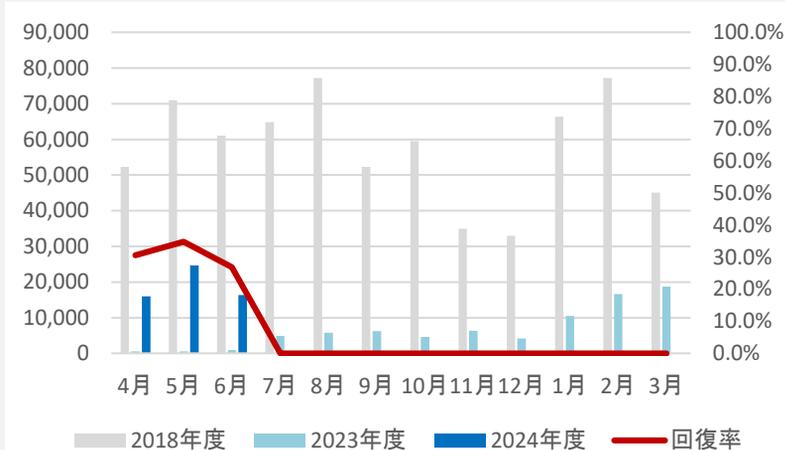


中国

訪日概況：8月の訪日客数は、745,800人（前年同月比 104.8%増）であった。中国の水際規制緩和、地方路線を含む増便、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

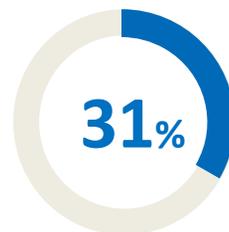
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

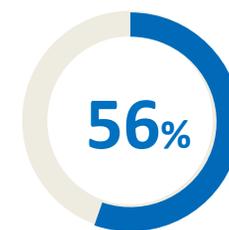
訪日ビザや中国現地の経済状況が影響し、回復率が低い状況にあるが、クルーズ船の寄港もあり前年度の6月より大きく増加した。

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出

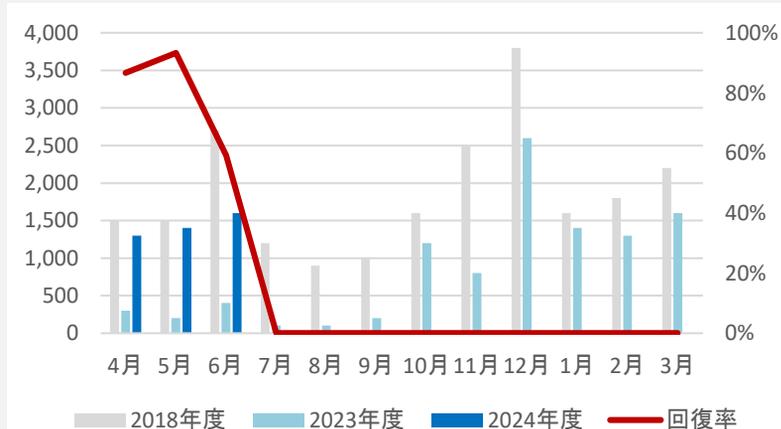


シンガポール

訪日概況：8月の訪日客数は24,800人（前年同月比 22.3%増）であった。直行便数の増加、航空関連等の各種プロモーション、8月31日から始まるスクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

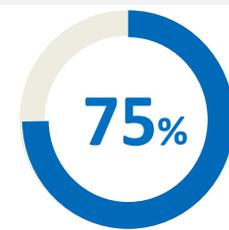
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

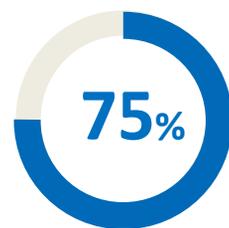
今年度4月から順調に右肩上がりで増加を続けているものの、観光客数回復率は75%にとどまっている。

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出

7. エリア概況（海外） タイ・マレーシア

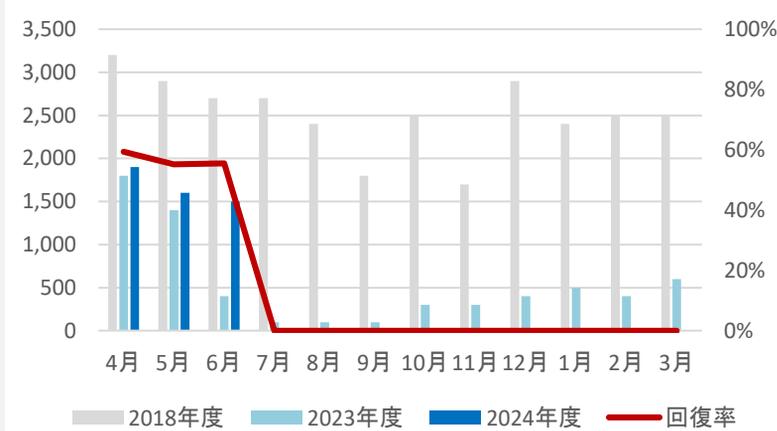


タイ

訪日概況：8月の訪日客数は、34,700人（前年同月比4.6%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり、消費者購買力の低下等の影響があるものの、直行便数の増加等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を上回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

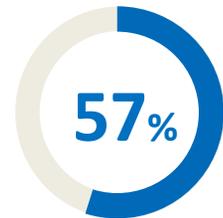
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

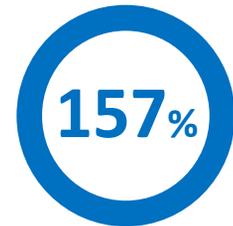
2024年6月タイ・エアアジアによるバンコク-台北-那覇便の就航があったが、タイ人の訪沖者数は前月を下回った。便の発地はバンコクだが、ほとんどが台北で降機し、台湾から当該便を利用している人が多いと考えられる。

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出



マレーシア

訪日概況：8月の訪日客数は17,200人（前年同月比10.4%減）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり、スクールホリデー時期の変更等の影響もあり、訪日外客数は前年同月を下回った。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

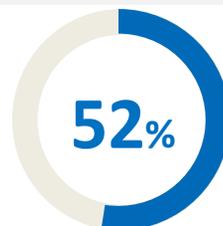
沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

パティックエアマレーシアによるクアラルンプール-台北-那覇便があるものの、未就航だった2018年からの回復率は52%とやや低調。今後も粘り強く沖縄の魅力を発信していくことが求められる

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

航空路線回復率



就航数がピークの2019年7月と2024年9月の週間運航便数から算出

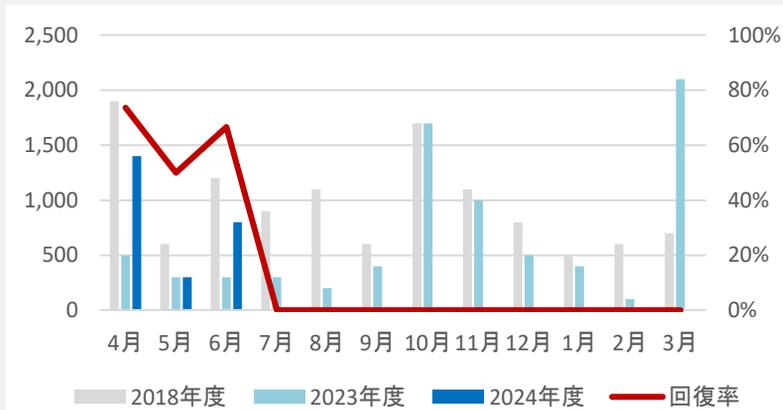


オーストラリア

訪日概況：8月の訪日客数は41,000人（前年同月比48.7%増）であった。直行便数が2019年水準を上回っていることもあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

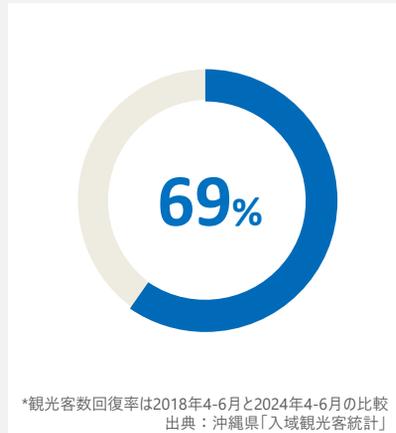
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率*



2024年6月は5月の300人から大幅に増加し、800人の訪沖があった。

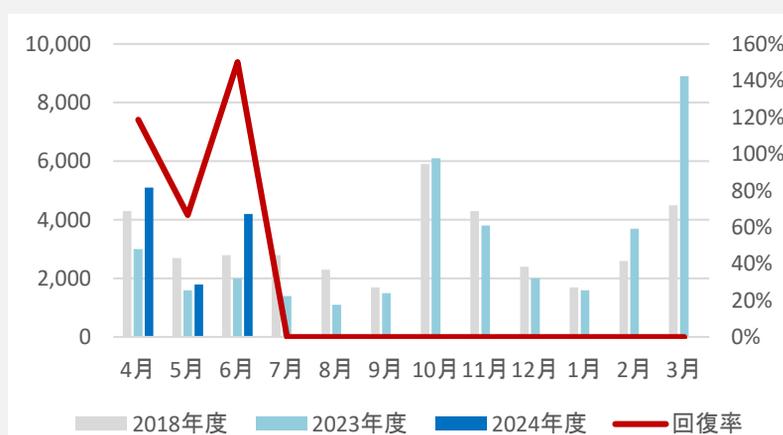


アメリカ

訪日概況：8月の訪日客数は174,000人（前年同月比25.8%増）であった。直行便数の増加、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率*



2018年度6月に記録した2,800人を150%大幅に上回る4,200人の訪沖があった。

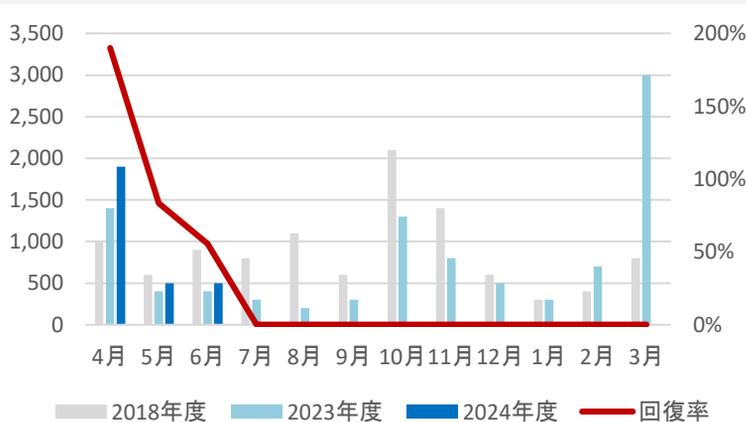


イギリス(本国)

訪日概況：8月の訪日客数は、29,400人（前年同月比 23.3%増）であった。経便航空商品の多様化、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

沖縄県入域観光客数比較



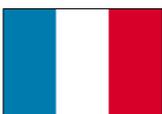
出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

2024年6月は2023年より100人多い500人の来訪が確認された。4月の来訪が多く、2024年度の回復率は116%と好調を維持している



フランス

訪日概況：8月の訪日客数は、31,400人（前年同月比 21.4%増）であった。オリンピックの開催による空港利用を控える動きがあったものの、直行便数の増加、スクールホリデー等の影響もあり、訪日外客数は8月として過去最高を記録した。

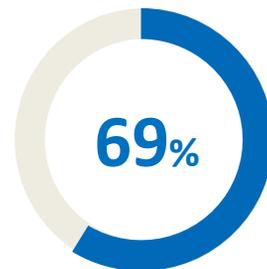
引用元：JNTO報道発表「地域別訪日市場の概況」（2024年8月）

沖縄県入域観光客数比較



出典：沖縄県「入域観光客統計」

観光客数回復率*



*観光客数回復率は2018年4-6月と2024年4-6月の比較
出典：沖縄県「入域観光客統計」

2024年6月は対2018年比△100人の200名の訪沖が確認された。



海外プロモーション課 那覇着 国際線状況

●国際線スケジュール(2024年9月30日現在)

最新のスケジュール、運航状況は航空各社のHP等ご確認ください。出発/到着時刻は現地時刻です。

【台湾路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
台北→那覇	エバー航空	BR112	06:45	09:15	デイリー運航
台北→那覇	タイガーエア台湾	IT230	06:50	09:20	デイリー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI120	08:00	10:40	デイリー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM924	09:35	12:20	デイリー運航
台北→那覇	スターラックス航空	JX870	12:00	14:25	デイリー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM926	14:35	17:20	デイリー運航
台北→那覇	チャイナエアライン	CI122	16:45	19:25	火・木・土・日
台北→那覇	エバー航空	BR186	16:25	18:55	デイリー運航
台北→那覇	ピーチアビエーション	MM928	18:05	20:50	デイリー運航
高雄→那覇	タイガーエア台湾	IT288	09:45	12:30	デイリー運航
高雄→那覇	チャイナエアライン	CI132	16:20	19:05	月・水・金

【中国路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
北京→那覇	中国国際航空	CA831	12:25	17:00	月・木
上海→那覇	中国東方航空	MU2085	09:50	13:30	デイリー運航
上海→那覇	春秋航空	9C6977	10:35	14:00	月・水・金・日
上海→那覇	中国東方航空	MU287	11:40	15:30	デイリー運航
福州→那覇	廈門航空	MF8731	14:15	17:00	火・土

【韓国路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
仁川→那覇	イースター航空	ZE631	07:30	10:00	デイリー運航
仁川→那覇	大韓航空	KE755	09:10	11:40	デイリー運航
仁川→那覇	アジアナ航空	OZ172	09:30	11:55	デイリー運航
仁川→那覇	ジンエアー	LJ341	10:35	13:00	デイリー運航
仁川→那覇	ティーウェイ航空	TW271	11:15	13:40	デイリー運航
仁川→那覇	チェジュ航空	7C1802	13:30	15:45	デイリー運航
釜山→那覇	ジンエアー	LJ371	08:05	10:00	デイリー運航

【香港路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
香港→那覇	香港エクスプレス	UO820	07:00	10:35	デイリー運航
香港→那覇	香港航空	HX676	07:25	11:10	デイリー運航
香港→那覇	香港航空	HX658	11:30	15:15	デイリー運航

【バンコク路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD240	08:30	14:55	火・木・土・日
バンコク→那覇	タイエアアジア	FD230※	07:25	15:55	デイリー運航

※台北経由

【マレーシア路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
クアラルンプール→那覇	バティックエア・マレーシア	OD882※	07:20	15:50	月・水・金・日

※台北経由

【シンガポール路線】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
シンガポール→那覇	ジェットスターアジア	3K791	02:00	08:10	火・木・日

【離島・下地島】

発着地	航空会社	便名	出発時刻	到着時刻	備考
仁川→下地島	ジンエアー	LJ357	12:40	15:10	月水金土日

【定期便まとめ】

路線	便数	備考
那覇台北	60 便/週	5 社運航
那覇高雄	10 便/週	2 社運航
那覇北京	2 便/週	1 社運航
那覇上海	18 便/週	2 社運航
那覇福州	2 便/週	1 社運航
那覇仁川	42 便/週	6 社運航
那覇釜山	7 便/週	1 社運航
那覇香港	21 便/週	2 社運航
那覇バンコク	11 便/週	1 社運航
那覇クアラルンプール	4 便/週	1 社運航
那覇シンガポール	3 便/週	1 社運航
下地仁川	5 便/週	1 社運航
全路線計	185 便/週	24 社運航
便数回復率	72.3%	

※回復率は2019年7月の週間便数(256)を100として算出

クルーズ概況

MSCベリッシマ那覇発着クルーズが再開！

国際クルーズ船「MSCベリッシマ」の那覇発着クルーズが11月より再開



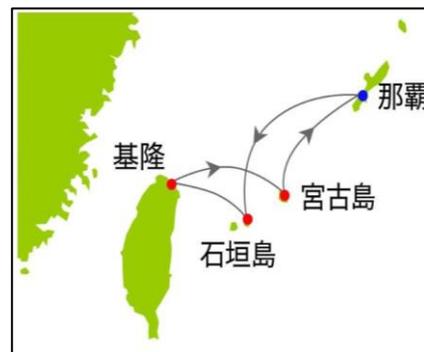
今年1月～3月にかけて運航された、MSCクルーズによるMSCベリッシマの那覇発着クルーズが、今年の11月より再開されます。日本で就航するクルーズ船としては最大級のMSCベリッシマは、昨年、日本に初就航し、今年の1月～3月にかけて那覇港を発着地とするクルーズを合計12回実施しました。

前回の好評を受け、沖縄県では2度目となる発着クルーズを実施します。クルーズというと日本ではシニア層などの利用することが多いというイメージがありますが、MSCベリッシマは若い世代でもカジュアルに楽しむことができるクルーズ船として人気です。

石垣島、宮古島、台湾（基隆）などを寄港する全11回の那覇発着クルーズを予定

発着クルーズのスケジュール

クルーズ日程	寄港地	発着港
11月28日～12月2日	那覇-基隆-宮古島-那覇(停泊)	那覇 (第2CB)
12月2～6日、12月6～10日、 12月10～14日、12月14～18日、 12月18～22日、12月26～30日、 12月30日～1月3日、1月3～7日	那覇-石垣-基隆-宮古島-那覇	那覇 (第2CB)
12月22～26日	那覇-石垣-基隆-那覇(停泊)	那覇 (第2CB)
1月7～12日	那覇-石垣-基隆(停泊)-宮古島-那覇	那覇 (第2CB)



参照：MSCクルーズWEB(<https://www.msccruises.com/int/japan/cruise-deals/winter-cruises>)

X（旧Twitter）にてクルーズ船の寄港情報を発信しています。

（一財）沖縄観光コンベンションビューローのクルーズ船公式アカウント。沖縄に寄港するクルーズ船の寄港情報を事前に地域の住民・事業者の皆様向けに発信します。クルーズ船寄港時のタクシー配車、店頭での販売強化など皆様のお役に立てば幸いです。

以下のアカウント名より検索してフォローをお願いします。

アカウント名：【公式】沖縄クルーズ船寄港情報
プロフィール URL：<https://twitter.com/OkinawaCruise>



クルーズ船寄港情報

- 那覇港：（9/18更新）<https://nahaport.jp/users/kyakusen/>
- 石垣港：（9/18更新）<https://www.city.ishigaki.okinawa.jp/soshiki/kowan/kuruzusenn/370.html>
- 平良港：（9/5更新）<https://www.city.miyakojima.lg.jp/soshiki/shityo/kensetsu/kouwan/>
- 本部港：（9/25更新）<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowan/1013146/1022459/1022074.html>
- 中城湾港：（9/19更新）<https://www.pref.okinawa.lg.jp/machizukuri/kowan/1013146/1022455/1013162.html>

国内向けプロモーションについて

■持続可能な観光地プロモーション「エシカルトラベルオキナワ」

第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」において「UN Tourism特別賞」を受賞！！

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)は、「ツーリズムEXPOジャパン」(主催:公益社団法人日本観光振興協会、一般財団法人日本旅行業協会(JATA)、日本政府観光局(JNTO))が開催する第8回「ジャパン・ツーリズム・アワード」において、持続可能な観光地プロモーション「エシカルトラベルオキナワ」の取組が「UN Tourism特別賞」を受賞しました。(UN Tourism 国連世界観光機関(UNWTO)の通称)

「エシカルトラベルオキナワ」は、令和3年度より実施している持続可能な観光地づくりに向けた取り組みです。沖縄の自然・伝統・産業等に触れながら「地域と過ごす旅」を通し、本県へ訪れる観光客一人ひとりが地域の一員のように過ごすだけでなく、迎え入れる県内観光事業者、沖縄県民も同様の考えを持ち、双方が地域の暮らしや自然環境に配慮した旅を心がけるきっかけになるような取り組みを進めております。

今回受賞した選考ポイントとして、旅行者数などに重きを置いた誘客施策ではなく、「世界から選ばれる持続可能な観光地」を将来像として、質の高い観光を求めた施策を展開している点や、沖縄の自然環境・伝統・産業を尊重し、旅行者と県民の相互満足度向上を目指していること、さらには県内の参加事業者が毎年着実に増えていることから、今後の発展を期待できることなどを評価いただきました。

引き続きOCVBでは県内の観光事業者の皆様と連携しエシカルトラベルオキナワを推進してまいります。



【エシカルトラベルオキナワ】

お問い合わせ先：国内プロモーション課(担当) 棚原、阿嘉 TEL：098-859-6125 E-mail：kokunai_rosen@ocvb.or.jp

■おきなわ物語 ぜひご利用ください

沖縄観光の総合ポータルサイト「おきなわ物語」では、様々な情報を掲載しております。

・安全安心なマリトレジャー
マリアクティビティの魅力とともに、安全で安心な海の楽しみ方として、ライフジャケットの着用や、「マル優マーク」認定を受けた事業者の利用を推奨したマリアクティビティ関連の記事を掲載

・ニーズに合わせた観光情報
「おしゃれ&ハイセンスなお土産特集」や「県内イベント情報」は常に視聴回数のトップを誇り、非常に人気が高い。「レンタカーなしの旅」等、公共交通機関(バスやゆいレール等)を利用した旅のスタイルを紹介

今後も最新の観光情報をお届けしてまいります。情報発信に関するご要望があればぜひご連絡ください。

沖縄観光の総合ポータルサイト「おきなわ物語」

・年間約1,200万PV、600万UU以上利用
・2024年4月～8月アクセス状況
約500万PV(前年同期比13%増)
260万UU(同18%増)



【Instagram】



【おきなわ物語】

■OCVB創立70周年記念特集記事

～次回「沖縄そばの魅力」お楽しみに～

OCVBは、2024年に創立70周年を迎えました。これを記念し「おきなわ物語」では、OCVB職員への独占インタビューを通じて、プロならではの視点で沖縄観光コンテンツの魅力を紹介する記事を掲載しております。

・第1弾「大自然やんばるの魅力」8月11日(山の日)公開
・第2弾「沖縄そばの魅力」10月17日(沖縄そばの日)公開予定。本記事では、OCVBの沖縄そばジョーグ(愛好家)が、沖縄そばの魅力やアレンジ方法、モデルコースなど、沖縄そば愛あふれる内容をお届けします。

今後も12月は「首里城周辺の魅力」、2月は「おきなわ物語作成の裏側」など、各種インタビュー記事を公開予定です。どの記事も皆様にお読みいただきたい内容となっておりますのでお楽しみに。

【10月17日(沖縄そばの日)公開】



【OCVB創立70周年ページ】

お問い合わせ先：おきなわ物語チーム E-mail：okimono_cr@ocvb.or.jp

海外向けのプロモーションについて

人材不足など県内の受入体制の課題等がありながらも着実にインバウンドの入り込みが続いていることから、OCVB海外プロモーション課では、よりいっそう賛助会員の皆様と連携しながら、海外からの訪沖プロモーション強化に取り組みます。

●「Adventureweek 2024 Okinawa」が開催されます

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)は、日本政府観光局(JNTO)・AdventureTravelTradeAssociation(ATTA)・沖縄県が主催する「Adventure Week 2024 Okinawa」と連携し、アドベンチャーツーリズムの推進を図る取り組みを行っています。今回のAdventure Week 2024 Okinawaでは、欧米市場から旅行会社13名、メディア2名を対象に沖縄におけるアドベンチャートラベルを体験していただくほか、県内AT事業者との商談会も予定しております。この機会を通じて、沖縄が世界水準のアドベンチャートラベル地として認知されるようコンテンツの磨き上げ、受入体制の拡充促進を図ってまいります。

なお、今回沖縄が開催地として選定された背景には、これまで参加してきたAdventureTravelWorldSummit(ATWS)やPreSummitAdventure(PSA)などの取り組みが成果として高く評価されたことが開催地決定に至りました。

期 間：令和6年11月9日(土)～11月16日(土)

場 所：沖縄県本島内

主 催：日本政府観光局(JNTO)、AdventureTravelTradeAssociation(ATTA)、沖縄県

参加者：ATTAが提案する欧米地域からの旅行会社・メディア 15名

内 容：沖縄アドベンチャーツーリズムFAMツアー、県内事業者との商談会

JNTOによるAdventureWeek 沖縄開催の報道

日本の魅力と、日本のチカラに。

JNTO 日本政府観光局

PRESS RELEASE
報道発表資料

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2023年10月30日

JNTOとして初のAdventure Weekを開催！
～ATTAと連携し、日本におけるアドベンチャートラベルを推進します～

日本政府観光局(JNTO)は、Adventure Travel Trade Association(ATTA)*1と連携し、2024年度に沖縄において「Adventure Week」を開催することを決定しました。「Adventure Week」とは、ATTAが定める基準を満たした特定の地域において、ATTAが厳選した旅行会社、メディア関係者が実際に開催地のアドベンチャートラベル(AT)商品を体験し、地域との商談会を通じ、商品のさらなる磨き上げを目的としたプログラムです。JNTOは日本のAT推進に向け、新たな試みを行います。

【Adventure Week 概要】

- 主催：JNTO、ATTA
- 日時：2024年11月上旬
- 開催地：沖縄県
- 参加者：ATTAが選定する欧米地域からの旅行会社・メディア 約15名
- 主なプログラム内容：
 - ・ATTAプロフェッショナル講師チームによる事前視察、ガイド研修、PR戦略を含めた総合コンサル
 - ・参加者による5泊6日程度のファムトリップ
 - ・ファムトリップ終了後に参加者と地元観光団体との商談会実施
 - ・ATTAのメディア・ストーリーテリングチームによるPR素材作成、情報発信

▲沖縄県 PSA コース

【お問い合わせ先】
市場横断プロモーション部 高付加価値旅行推進室 伊波・上野
TEL : 03-5369-3336 E-MAIL : suishinshitsu_luxury@jnto.go.jp

Japan. Endless Discovery.

独立行政法人 国際観光振興機構 〒160-0004 東京都新宿区四谷 1-6-4
企画総室 広報グループ TEL: 03-5369-3342 FAX: 03-3350-5200
URL: <https://www.jnto.go.jp/>

お問い合わせ先：海外プロモーション課 TEL:098-859-6127(担当)：山城、飯島、稲福E-mail：okinawatourism@ocvb.or.jp

●「EXPO2025関西・大阪万博ポータルサイト」への登録案内

万博 + 観光ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides」では現在、万博のテーマと関連した体験商品の掲載申請を受付けています。万博のテーマと親和性があり、主に訪日旅客に対して高い満足度と利便性を提供できる施設の入場券、また地域の紹介動画・イベントの掲載申請の受付をおこなっていますので、ぜひ積極的な活用をお願いします。

サイト：Expo 2025 Official Experiential Travel Guides
登録期間：2024年5月22日(水)～
申請先：<https://www.expo2025travel.jp/>
問合せ：公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
地域・観光部 観光推進課
TEL:06-6625-8735
MAIL:travel-guides@expo2025.or.jp

OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO 2025

ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。
Towards a brighter future for all

開催期間 **2025年4月13日(日)～10月13日(月)** 開催場所 **大阪 夢洲(ゆめしま)**
Period **Sunday, 13 April to Monday, 13 October 2025** Venue **Yumeshima Island, Osaka City**

観光中小企業向け人材戦略セミナーの開催について

●「観光中小企業向け人材戦略セミナー～求職者に選ばれ定着する職場づくり～」を開催します

人手不足が深刻な沖縄の観光業においてこれからの採用活動に必要なことや、採用した人材が定着するための人事制度といった仕組みづくり（ハード面）から、実際に社員に寄り添い、定着・活躍できる職場環境を実現させている事例の共有（ソフト面）まで 幅広く学ぶことができます。忙しい経営者の皆様も半日で完了するセミナーとなっております。奮ってご参加ください！

- 求人を出しても応募がこない
- 選考に進んでも断られてしまう
- 採用しても人材が定着しない
- 人材に投資したいができていない
- 人事の機能を見直したい



チェックが1つでも当てはまったら
セミナー受講をオススメします！

日時：令和6年11月11日（月）13時～17時15分

形式：オンライン

対象：沖縄県内観光関連事業者（経営者・管理職・人事担当者向け）

費用：無料

内容：

【第1部 人材戦略セミナー】

①「観光業これからの採用に必要なこと～消えた求職者はどこに行ったのか？～」

講師：小宮 仁至 氏 ファンシップ株式会社 代表取締役

②「観光業のこれからの成長に必要な育てるしくみ～3つの制度と3つの落とし穴～」

講師：リム 紗代 氏 株式会社ワダチラボ 企業支援事業部長

【第2部 人を大切にせる企業 事例紹介】

①人材定着のための制度運用～従業員が“大切にされている”と感じるには～

登壇：玉元 梢 氏 ルネッサンスリゾートオキナワ パーソネル&トレーニングディレクター

お申込みはこちらから



お問い合わせ先：国内事業部
受入推進課
観光人材育成センター
TEL：098-859-6129
✉：ikusei@ocvb.or.jp

令和6年度 修学旅行需要分散化促進支援事業 体験プログラム二次募集について

●令和6年度 修学旅行需要分散化促進支援事業

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（OCVB）では、沖縄県からの委託を受け、令和6年度に沖縄での修学旅行を実施する学校様を対象に、「訪問・集合・離散場所や、移動手段等の分散化」と「探究学習やSDGs学習の体験プログラムの新規追加」の2つの条件を満たす修学旅行について、体験プログラムの新規追加に伴う費用の支援を行います。この事業では、支援対象となる体験プログラムを事前登録されたものに限定しており、この度、旅行会社の皆さまからの厚いご要望を受け、登録の二次募集を行うことといたしました。**SDGs学習や探究学習に特化した体験プログラム**をお持ちの事業者様がいらっしゃいましたら、ぜひご登録をお願いします。

- 登録条件：①探究学習又はSDGs学習に特化した内容であること
②令和6年10月1日又はそれ以前より受入可能であること
③体験プログラム提供事業者（以下「事業者」という。）の拠点が沖縄県内にあること
④事業者において過去に沖縄県内における修学旅行の受入実績があること
⑤本支援事業により利用された体験プログラムの実施内容について、沖縄県又OCVBが対外的に公表・共有することに同意すること

体験プログラム登録申請締め切り日：令和6年11月30日

※体験プログラムの登録に関する資料、申請様式は以下のURLからご確認ください。

<https://education.okinawastory.jp/topics/38512/>

【参考】令和6年度 修学旅行需要分散化促進支援事業

支援対象：沖縄修学旅行を実施する学校で、以下の条件を満たすもの

- ①令和6年10月1日～12月31日の間で沖縄県を目的地として実施する修学旅行
- ②本支援事業へ申請する前に策定された行程に、OCVBが別途提示する一覧表に掲載された**体験プログラム**を新たに追加していること
- ③元の行程から、県内移動手段の需要及び訪問・集合・離散場所や時間帯の集中を避けるための分散化を考慮した行程へ変更していること

お問い合わせ先：
国内事業部 受入推進課
お問い合わせは専用フォームで受け付けています。

令和6年度修学旅行需要分散化促進
支援事業 お問い合わせフォーム



●【開催報告】沖縄MICEセミナー&商談会（大阪、名古屋、東京）

沖縄県およびOCVBでは沖縄県外のMICE営業・企画を行う旅行会社およびPCO等を対象に「沖縄MICEセミナー&商談会in大阪・名古屋・東京」を開催いたしました。

- ・今年度はさらなる集客強化を図り、過去最高の参加バイヤー数を記録しました。
- ・6枠の商談枠は一部事前マッチングとし、空き枠は当日来場のバイヤーにご案内したところ、概ね常時多くの商談が活発に行われました。
- ・参加バイヤーからは、例年どおり、多くの沖縄の事業者と一堂に会することができる貴重な機会とのコメントを多くいただきました。
- ・より多くのセラー、バイヤーの交流を促すため、今年度ははじめて交流会を企画しました。和やかな沖縄らしい雰囲気の中、参加者にお楽しみいただき、商談相手以外とも交流ができた、とのコメントも多くいただいた一方、特に出展セラーからは、交流促進にはより一層の工夫が必要とのコメントもいただきました。引き続きご意見をいただきながら更なる双方の交流、ビジネス促進のため、この機会を充実させて参りたいと存じます。

ご出展いただいた沖縄MICEサプライヤーの皆様、ご参加誠にありがとうございました。他の事業者様も、今後MICEにおけるセールス活動ご希望の際はぜひ次の機会にご検討ください。



- 【大阪】：令和6年9月4日（水）梅田センタービル
- 【名古屋】：令和6年9月5日（木）中日ホール&カンファレンス
- 【東京】：令和6年9月6日（金）東京交通会館
- 【内容】13:30-13:50 沖縄MICEセミナー（沖縄MICEの現状、出展セラーによるプレゼンテーション）
14:10-16:30 商談会（事前マッチング）
16:30-17:30 セラーバイヤー交流会（自由交流、名刺交換、沖縄MICE支援メニュー（泡盛試飲、瓦割体験）の実演、沖縄観光大使による三線演奏、出展セラー提供の景品が当たる抽選会）



	大阪	名古屋	東京
出展セラー数	44社	29社	46社
参加バイヤー数	95名	61名	117名
商談件数	285件	214件	294件

お問い合わせ先：比嘉茜、比嘉玲依美、奥平
TEL：:098-859-6130 E-mail：mice@ocvb.or.jp

●MICEサポートメニューを皆様の営業活動にお役立てください！

沖縄県・OCVBでは、MICE誘致および開催時の満足度向上を目的として、MICE主催者向けの各種支援事業（MICEサポートメニュー）をご用意しています。支援の対象は、沖縄県内でMICEを開催する主催者および主催者から委託を受けた旅行会社や企画会社等となっており、人数や開催内容についての諸条件がございます。詳しくは「おきなわMICEナビ」サイトをご覧ください。

<https://mice.okinawastory.jp/support/tour/>

【支援申請・動向】

総じてR6年度の7～9月の開催歓迎支援の申請・実施件数は、前年度の同時期と比較し増加傾向にあります。その中でもミーティングの増加が顕著にみられ、前年度は支援実績3件・総参加者人数1,150名に対し、今年度は支援実績6件・総参加者数2,523人と、1件あたりの参加者数も増加傾向にあります。また、10月・11月はコンベンション開催の最盛期であるため、今後の申請が期待できます。皆様からのご申請お待ちしております。

■開催歓迎支援・申請状況					
※令和6年9月末時点	7月	8月	9月	計	前年比
ミーティング	3	1	2	6	300.0%
インセンティブ	8	0	3	11	122.2%
コンベンション	3	3	2	8	100.0%
合計件数	14	4	7	25	131.6%



お問い合わせ先：屋良、照屋、義岡、折原
TEL：098-859-6130 E-mail：mice_support@ocvb.or.jp

国際会議「SPNHC-TDWG2024合同大会」をアジア初開催！

●【開催報告】

国立自然史博物館誘致の後押しに！SPNHC-TDWG2024合同大会が沖縄でアジア初開催！！

沖縄コンベンションセンターを舞台に令和6年9月2日（月）～6日（金）の日程で、国際会議「SPNHC-TDWG2024合同大会」が開催されました。本大会は、SPNHC（国際自然史標本保存学会）とTDWG（生物多様性情報標準化委員会）が「地域能力の推進、国際標準の向上を」をテーマに開催する合同大会で、合同大会としてはアジア初開催となる国際会議です。

2020年にJNTO事業により大会のキーパーソンが来日したことをきっかけに、沖縄への誘致活動を継続し、最終的に以下のポイントを決め手として沖縄が開催地として決定しました。

- ・日本の中でも極めて豊かな生物多様性を誇る島嶼地域である
- ・世界文化遺産、世界自然遺産をはじめとする独自の地域観光資源を有する点で圧倒的優位性を持っている
- ・生物多様性のホットスポットが集中し、自然史科学研究における国を超えた連携の強化が期待されるアジア太平洋地域の中心的な立地である
- ・沖縄県が「新21世紀ビジョン基本計画」において、国立沖縄自然史博物館をあらゆる機会を捉えて誘致に努めると位置づけている

また、本大会は、国際基準を視野に入れたサステナビリティMICEへのチャレンジとして、主催者・運営事業者に「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」に沿ったMICE運営を実践していただきました。①「大会参加者の行動規範」として沖縄21世紀ビジョンの5つの将来像を取り入れる ②大会まで主催者と沖縄チームで毎週ミーティング実施 ③開催期間に沖縄MICEネットワーク・サステナビリティ部会が現場チェックを実施 ④閉会式にて取組報告を行う など、企画からフォローアップまでサステナブル視点を導入した先駆的な事例となりました。

加えて、本大会は、主催者、担当PCO（沖縄コングレ）、OCVB、沖縄県環境科学センターの4者で観光庁事業「国際会議の開催効果拡大実証事業」に採択されており、日本の中でも独自性ある沖縄の生物多様性や歴史文化に恵まれた土地柄を価値高く伝えるオンラインツールの作成、現地課題解決型のエコツアーの企画も実践されています。

サステナブルな会議の様子やエコツアーの詳細等は次回の季刊版OCVBNews1月号でご紹介いたします。お楽しみに。



●MICE専門アドバイザー派遣でMICE受入力UP!

沖縄県・OCVBでは、主催者ニーズ対応力及び技能向上やサービス拡充を図ることを目的に、MICEにおける様々な課題に助言・指導を行う専門アドバイザーを派遣しています。派遣料は無料です。

～支援期間～

令和6年4月1日（月）～令和7年2月28日（金）

～こんな悩みにお答えします～

- ・MICE商品の商品開発、ブランディングをしたい
- ・MICEの効果的なプロモーションを学びたい！
- ・MICE主催者を引き付けるプレゼンスキルを身につけたい！
- ・サステナブルなイベントをするには？

この機会にぜひご活用ください。

詳細はWebサイトよりご確認ください。

<https://mice.okinawastory.jp/information/post-40678/>



お問い合わせ先：有馬 加治工

TEL：098-859-6130

E-mail：mice@ocvb.or.jp

沖縄県ならびにOCVBでは、沖縄を訪れる観光客の安全確保を目的に、旅の基本的な安全情報をまとめた「安全安心ガイド」を制作・配布しております。多言語版もご用意しておりますので、観光客の皆様へ向けたタビナカの安全安心の備えとして、是非活用ください。

コンパクトなA6サイズ

マリレジャーのここに注意!

海上保安庁「ウォーターセーフティガイド」事前準備をしっかりすることで防げる事故がたくさんあります!

スノーケリング

- ライフジャケットは命綱!**
自力で浮くことでも実はとても難しい! ウェットスーツなどで浮力を確保!
- 浅瀬の練習からスタート!**
ちょっとした油断が強い事故が急増中。熟練者と一緒に浅瀬から練習開始!

SUP

- 使用環境に応じた装備品を準備!**
リシュウコード、ライフジャケットの他、防水バック入りの携帯電話など通信手段の確保も忘れずに。
- 風の流れを常に意識!**
SUPは風の影響を受けやすいので、常に風に風量、波の変化を熟慮することが大事!

ダイビング

- 初めてのダイビング! 重要なのはステップアップ!**
信頼できるマリネ事業者から段階的にレクチャーを受けよう! 少しでも不安があれば、必ずスタッフへ相談を。
- 潜る前の事前確認は必須!**
水中では会話ができないのでハンドシグナルの確認を! また、緊急時の対処方法や潜水時間・深度・残圧・ルートなども忘れずに。

事故多発! 怖いのは“波の切れ間”

サンゴ礁で囲まれた海岸沿いで発生する崖から流れ落ちる強い海水の流れのことを**リーフカレント(離岸流)**といいます。沖縄県ではこのリーフカレントが原因の水難事故が多く発生しています。

リーフカレントの見つけ方
泳者の苦悶な人は無理に泳がず、浮くことを優先して救助を待とう!

沖に流されていると感じたら?

- 流れに逆らわず浜辺と平行に、横切るように泳ぐ
- リーフカレントを抜けたから一歩近い陸地を目指す

リーフカレント体験動画についてはこちら! ▶▶▶



全4言語(日・英・中・韓)制作

【デジタルブック版】



日本語版



英語版



中国語版



韓国語版

沖縄のサングワをイメージし、旅のお守り代わりに制作しました! マリレジャーやトレッキングなどのアクティビティをはじめ、自然災害発生時、熱中症、沖縄の交通事情等、沖縄旅行を安全安心に楽しむためのポイントをコンパクトに、わかりやすくまとめています。

海のキケン

- 海遊びを楽しむための大事な5つのこと
- マリレジャーのここに注意!
- 海にいるキケンな生きもの

P.4

山・川のキケン

- 山・川遊びを楽しむための大事な5つのこと
- 山・川のここに注意!

P.10

ケガ・病気になったら

- ケガ・病気に関する大事な3つのこと
- 熱中症になったら
- 感染症にかからないために

P.14

台風や災害

- 自然災害にあったら

P.20

沖縄の豆知識

- 朝夕の交通規制「バスレーン」に注意!
- 那覇空港内での車の注意点
- 離島の医療事情 ● 守りたい生きもの

P.24

小さなお子さまとの旅

- 小さなお子さまとの旅で気をつけたいこと

P.26

6つのポイントに分けて掲載

知ってほしい 沖縄

朝夕の交通規制「バスレーン」に注意!

沖縄の道路には**バス専用通行帯**と**バス専用道路**という、平日の朝夕(7時~9時・17時30分~19時30分)の通勤ラッシュ時に実施される**バスレーン規制**があります。
「道が空いている」と思っていると、道路交通法違反で減点や罰則の対象に!

那覇空港内乗降エリアでの駐車はNG!

那覇空港国内線3階の乗降エリアの停車スペースは、**車の乗り降りのためのスペース**となっており、車を「駐車」しての送迎行為はNGです。空港に直結する立体駐車場なら30分間利用無料なので迎え(人待ち)やお見送りの際はそちらを利用しましょう。

那覇空港内でのレンタカーの貸渡し・返却はNG!

那覇空港内の道路や、駐車場での**レンタカーの「貸渡し・返却」**は禁止されております。沖縄旅行の始まりからトラブルに巻き込まれてしまわないよう、受け渡し場所が空港外を指定しているかどうかを事前に確認し、**ルールを守った事業者**を利用するようにしましょう!

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（以下、「OCVB」）は、沖縄県が行うSDGsの普及啓発に向けた取り組み「おきなわSDGsパートナー」に登録されております。沖縄観光におけるSDGsの取り組みとして、OCVBから各部署での取り組みを2回に分けて紹介いたします。第1回目にあたる今回は、総務・経理課、企画課、プセナ海中公園、旧海軍司令部壕における取り組み内容を紹介します。

総務・経理課のSDGsに関する取り組み

総務部
総務・経理課

総務・経理課ではSDGsの取り組みとして以下の項目を重点的に取り組み、「持続可能な開発目標達成のために観光がいかに貢献できるのか」という視点から、SDGsに関する取り組みを組織全体で進めてまいります。

●労働環境の整備、人材確保および定着に向けた取り組み

月に1度職場内の課題を抽出し職場環境の改善に努める安全衛生委員会の開催、ストレスチェックの実施、有休、年休制度や産休・育休を取得しやすい環境づくり、時差出勤制度の継続や時間外労働の軽減に向けた取り組みや、職員一人ひとりが持つ様々な違いを受け入れ、多様な働き手の確保を目的に、事業所におけるパートタイム、障害者・高齢者雇用や派遣職員の活用に取り組んでいます。

柔軟な働き方を目指すとともに、職員の適正な労働環境を維持するため、労働環境の整備および人材の確保・定着に取り組めます。

●OCVBにおけるエコ活動の推進

会議や業務で使用するコピー用紙の利用削減や、印刷物のデジタル化移行、不要紙裏面の活用、両面コピーの推進を呼びかけています。また、業務で使用する公用車について、エコカーへ順次切替えを行うとともに、組織全体として印刷物やノベルティの作成時には自然に配慮した素材を活用する取り組みを進めております。さらに、懇親会やレセプション等においても、フードロスの削減について取り組んでまいります。

●賛助会員・広域連携事業の実施

今年度も引き続き約650社の賛助会員の皆様に向けた情報発信をはじめとし、観光関連団体35団体からなる「沖縄ツーリズム産業団体協議会」での意見交換、日本観光振興協会沖縄支部および九州・沖縄観光連盟等連絡協議会との連携など広域連携事業を展開し、パートナーシップの連携強化を図ります。



令和5年度賛助会員交流会

お問い合わせ先： 総務・経理課

TEL：098-859-6124 E-mail：soumu@ocvb.or.jp

企画課のSDGsに関する取り組み

企画・施設事業部
企画課

SDGs 目標「11. 住み続けられるまちづくりを」に向けて災害などがあっても早く回復できる、**持続可能なまちづくりを目標に令和6年度帰宅支援対策運用図上訓練を実施します。**



●令和6年度帰宅支援対策運用図上訓練について

OCVBは、沖縄県より観光危機管理体制構築支援事業を受託しており、観光危機管理に関する図上訓練を実施しています。大災害発生時においては、電気・ガス・水道・通信などのライフラインの寸断、バス・モノレール・飛行機・船などの交通機関の運行停止が想定され、住民のみならず、旅行で沖縄を訪れている観光客も被災します。

観光客が沖縄県内で被災すると、飛行機や船で帰宅するしか方法がなく、長期間の帰宅困難による滞留が想定されるため、観光が主要な産業である沖縄県は、観光客の安全・安心の確保および観光産業を守るための対応が求められます。

災害が発生してなるべく早く観光客に帰宅いただくことで安心してもらい、各地域及び観光業界においては帰宅困難者への対応を軽減し、復旧、復興に注力することで観光立県沖縄としての持続可能なまちづくりを目指す取り組みを行っています。



【昨年度の訓練の様子】

【訓練概要】 ※申込みは締め切りました

(1) 日時：令和6年11月12日（火） 10：00～16：00（開場9：30）

(2) 場所：沖縄空手会館 道場（豊見城市宇豊見城854-1）

(3) 対象：行政機関（国、県、市町村）、地域観光協会、観光関連団体・事業者等

お問い合わせ先：企画課 危機管理チーム 担当：天久、貞熊

TEL：098-859-6126 E-mail：kikikanri@ocvb.or.jp

(OCVB危機管理チーム運営サイト)

沖縄観光危機管理-安全・安心な観光地へ！：<https://tcm.ocvb.or.jp/>



ブセナ海中公園のSDGsに関する取り組み

企画・施設事業部
ブセナ海中公園事業所

●ブセナの海で「見る」、「育てる」、「学ぶ」



ブセナ海中公園では、ブセナの海で「見る」、「育てる」、「学ぶ」の体験をSDGsの取り組みとして実施しています。ブセナ海中公園で運営している海中展望塔やグラスボートでは、自然に生きるサンゴや色鮮やかな熱帯魚をブセナの海で「見る」ことができます。ブセナの海で「育てる」では、令和4年度から沖縄県サンゴ礁保全推進協議会から事業採択を受け、ブセナ海中公園でのサンゴ植付を実施しています。今年度もサンゴ植付に向けて準備を進めています。また、ブセナの海で「学ぶ」取り組みとして、毎年海の日に合わせてタマンの稚魚放流イベント実施しており、海洋生物と触れ合う機会を提供しています。今後もブセナ海中公園の運営を通して、SDGsを推進していきます。

ブセナの海を育てる

昨年令和5年度はサンゴ2種類を合計82群体植え付けました。サンゴの保全・再生により、サンゴの周辺に生息する生物の多様性に寄与します。

ブセナの海を見る

海中展望塔・グラスボートからブセナの海で自然に生きるサンゴや熱帯魚を見ることができます。



ブセナ
海中公園
SDGsの取り組み

ブセナの海で学ぶ

タマンの稚魚放流イベントを実施し、ブセナの海の豊かさを学ぶとともに、後世に繋いでいきます。

お問い合わせ先：ブセナ海中公園（担当）上原 TEL：0980-52-3379 E-mail：busena@ocvb.or.jp
WEB：<https://www.busena-marinepark.com/>（公式ページ） <https://www.busena-marinepark.com/cultivated-coral/>（サンゴ植付ページ）

旧海軍司令部壕のSDGsに関する取り組み

企画・施設事業部
旧海軍司令部壕事業所

旧海軍司令部壕は、第二次世界大戦の末期、海軍が小禄飛行場（那覇国空港）を守るために造った重要な軍事拠点であり、那覇市内、空港からも近い平和学習の場です。海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる高台にあり、琉球王国時代には「火番森（ヒバンムイ）」と呼ばれ、中国や薩摩等からの来航を首里城に伝えるために「のろし」を上げる通信拠点でした。現在は市民の憩いの広場として、また恒久平和の祈りの場所として整備され、多くの市民に親しまれています。※現在大型遊具は再整備工事のため利用できません。



旧海軍司令部壕

●海軍壕公園 シェアサイクルが導入されます！

海軍壕公園ではこれまでちゅらチャリを導入していましたが、この度、那覇市の協力により、HELLO CYCLING CYCY（サイサイ）を13台設置することが決まりました。CYCY（サイサイ）といえば、

- ✓交通渋滞の緩和
- ✓環境に配慮したモビリティ社会の実現(CO2排出削減)
- ✓地域観光産業の活性化

この3つをミッションに掲げ、沖縄のサイクル文化の醸成を目指しています。

●交通手段にバリエーションが！

レンタカー、タクシー、ゆいレールとバスの併用で来館されるお客様が多かったのですが、これからはシェアサイクルで来館される方も増えると思われます。ぜひ読者の皆様もシェアサイクルをご利用されてみてはいかがでしょうか！



CYCY サイサイ
OKINAWA



お問い合わせ先：旧海軍司令部壕事業所 営業時間：9：00～17：00（最終入館16：30）年中無休
TEL：098-850-4055 E-mail：kaigungo@ocvb.or.jp

OCVB 総務部からのお知らせ

●賛助会員交流掲示板(Teams)の登録・利用促進に取り組んでいます

昨年11月より賛助会交流掲示板システム（Teams）仮運用を開始しておりますが、ご登録はお済ですか？

Teamsを活用することで、従来の情報発信方法では叶わなかった、賛助会員の皆様からの情報発信、会員同士のマッチングが可能となります。また、これまで専用ページでIDやパスワードを入力しないと確認できなかった「OCVBNews」についても、ID・パスワードの入力することなく、ワンクリックで閲覧することが可能となりましたので、ぜひご登録ください！

※従来の「賛助会員メールマガジン」「賛助会員ニュース」はTeams掲示板へと順次移行いたします。

■案内文書（詳細はこちらをご確認ください）

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb231205.pdf>



■利用規約（登録前に必ずお読みください）

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120502.pdf>



■登録マニュアル

<https://www.ocvb.or.jp/pages/data/ocvb23120503.pdf>



Teams掲示板を使うことで、
様々な情報を瞬時に
受け取れます！

実際の画面

情報発信

セミナーご案内

マッチング

危機管理

チム

マハ朗

花笠マハエ

●各取引関する支払日について皆様のご協力をお願いいたします。

OCVBでは、支払業務の円滑化並びに効率化をさらに進めるため、各取引先から受領した請求書等を精算するにあたり、下記内容での精算・決済としております。賛助会員の皆様におかれましても、請求書の早期提出にご協力いただいておりますが、改めて周知するとともに、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

月末締め翌月末支払い

請求書の締め日は「月の末締め」となります。
また、支払いは「請求書を受領した翌月末の支払い」となります。

お問い合わせ先：
総務・経理課（担当）玉城・前仲
TEL：098-859-6124
E-mail：soumu@ocvb.or.jp

●首都圏の沖縄イベント情報

【東京都】

・10/11(金)

[有楽町で呑みましょう♪～日本の銘酒と全国つまみフェスティバル～](#) / [東京交通会館](#)



【茨城県】

・10/26(土)～27(日)

[茨城空港から沖縄・宮古島へ行くキャンペーン!](#) / [あみプレミアム・アウトレット](#)



【神奈川県】

・11/2(土)～3(日) [第9回鶴見ウチナー祭](#) / [鶴見区入船公園](#)



・12/21(土)～22(日) [お城EXPO2024](#) / [パシフィコ横浜ノースほか](#)



●OCVB東京事務所でどんなことができるの？首都圏での困りごとやプロモーションなどぜひご相談ください！

首都圏でのイベントやプロモーションのため在京企業やイベント事業者とつながりたい...教育旅行やMICEの受け入れに興味がある...など、首都圏での困りごとはぜひ東京事務所にお気軽にご相談ください。

当事務所内では、沖縄県内の自治体、観光協会および事業者のみならず、首都圏での観光PR活用を提供しております。少人数制の旅セミナーや観光PRコーナーを利用したプロモーションを行うことが可能です。

今年度セミナー実績：糸満市観光協会さま、うるま市役所さま

●OCVB東京事務所近隣施設案内

当事務所近隣にもイベントプロモーションでご利用いただける施設がございます。担当者もご紹介できますので、お気軽にお問い合わせください。

【TIC TOKYO】千代田区丸の内1-8-1 丸の内トラストタワーN館1階
丸の内トラストシティ外構スペースイベントプロモーション
東京駅日本橋口より1分。TIC TOKYO前の屋外イベントスペースで特産物や伝統工芸品等のプロモーション・販売も可能です。



【東京交通会館】千代田区有楽町2-10-1
有楽町駅直結。屋内の展示会場、屋外のイベントスペースなどを
ご活用いただけます。
使用例) 沖縄修学旅行相談会、クルーズフェスティバル東京、沖縄MICEセミナー & 商談会



【東京シアアイ】千代田区丸の内2-7-2
丸の内南口より1分。
インフォメーションゾーン・パフォーマンスゾーン・レストゾーンの3つのゾーンを使ったイベントプロモーションが可能です。
併設するカフェと連動してコラボメニューやサンプリング等もご利用いただけます。



【OCVB東京事務所の公式SNSサイト】

フォロワー数 (2024/9/24時点)

X : 2,964人

Facebook : 4,147人

Facebook



X



※写真はイメージです。※情報は変更になることがあります。

お問い合わせ先：東京事務所 (担当) 大嶋・土屋・青木
TEL : 03-5220-5311 E-mail : tokyo@ocvb.or.jp

東京事務所内で開催いただける2通りのプロモーション
組み合わせることも可能です！

一般向けセミナー『おきなわ旅セミナー』 観光案内プロモーション『観光PRコーナー』

『おきなわ旅セミナー』

お客さまとコミュニケーションの場
としてご利用いただけます

対象：一般の方（定員8名）

時間：1時間程度

内容：

- ①地域の基本情報（気候、アクセスなど）
- ②観光情報/おすすめ最新スポット
- ③モデルコース
- ④その他（雨や台風時の過ごし方、レンタカーなしでの観光など）

『観光PRコーナー』

みなさまの地域PRにご利用いただけます

期間：2週間～1ヶ月（目安）

内容：

- ①4Kテレビでの動画放映
- ②ポスターやパネル等展示
- ③PR内容をイメージした装飾
- ④BGM再生
- ⑤サンプリング
- ⑥アンケート実施
- ⑦SNS連動キャンペーンなど

詳細については、お気軽にお問い合わせください。

沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)東京事務所 大嶋、土屋、青木
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館3階

TEL：03-5220-5311 Email：tokyo@ocvb.or.jp

♪ 東京事務所からのご案内♪

まずはOCVB東京事務所にて ご相談ください!



沖縄について知りたい、ポスター・パンフレットがほしい、 装飾品のレンタルがしたい

- ・ 主要パンフレットやポスターの配布・沖縄関連書籍や雑誌の展示
 - ・ マハエ・マハ朗（着ぐるみ）レンタル
 - ・ イベントやフェアに使用する装飾品、かりやしウェア、紅型布などレンタル
 - ・ 一般消費者向けセミナーの実施、沖縄関連イベント出展、
- X、Facebookでの情報発信等

X



Facebook



在京の沖縄企業やイベント事業者とつながりたい

沖縄県東京事務所やその他協会、事業者などをご紹介

- ・ 関東沖縄観光連絡協議会、沖縄県首都圏・物産連絡協議会
- ・ 関東沖縄経営者協会、東京沖縄県人会
- ・ 日本修学旅行協会、全国修学旅行研究協会、JNTO等など

新宿エイサーまつり、鶴見ウチナー祭、有楽祭など各種イベント主催者さまをご紹介します。



沖縄の教育旅行について知りたい

・ 東京事務所では沖縄教育旅行チームと連携し、有意義な沖縄修学旅行の実施を実現するための体験プログラム、施設・団体等の情報を発信しています。

沖縄へ修学旅行を検討する学校や実施が決まっている学校へのサポート、修学旅行相談会、修学旅行セミナーも行っています。

沖縄へ訪れる生徒の皆様の学びや成長をサポートするため、全力を尽くしてまいりますので、

何かお力になれることがございましたらお気軽にご連絡ください♪

おきなわ修学旅行ナビ

支援事業や学習資料、体験プログラムなどが満載



MICEの受け入れ強化なら、東京事務所MICEチームにお任せ

東京事務所MICEチームは、沖縄県へのMICE(報奨旅行や学術会議など)の誘致を強力に進めるため、日々、首都圏を中心とした旅行社とコンタクトをとり、情報収集・情報発信を行っています。地域の魅力のさらなる発信や新たなコンテンツの開発、団体受け入れ促進のお手伝いをいたします。お気軽にご連絡ください。

おきなわMICEナビ

サポートメニューや施設、ユニークメニュー、コンテンツ、サービスなどの検索可能



お気軽に
お問い合わせください



沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)東京事務所
〒100-0006 東京都千代田区有楽町2-10-1 東京交通会館3階
TEL: 03-5220-5311 Email: tokyo@ocvb.or.jp



●令和6年度のブセナ海中公園でのサンゴ植付の取組について

ブセナ海中公園では、観光産業にとって重要な観光資源の1つであるサンゴ礁の再生・保全を目的に、サンゴの植付に取り組んでいます。令和4年度からアラムコ・アジア・ジャパン株式会社による沖縄県サンゴ礁保全推進協議会からの助成支援を受け、ザ・テラスホテルズ株式会社と共同でサンゴ植付を実施しており、今年度の取組についてご紹介します。なお、サンゴ植付実施にあたり、沖縄県の関係部局とも調整の上、実施しています。

ブセナ海中公園でのサンゴ植付の取組

1

簡易設置型の着床具を利用したサンゴの植付

簡易設置型の着床具にシコロサンゴを活着させ、中間育成を行った後、植付を予定しています。



2

海草とサンゴの共生関係を利用したメッシュポットでの植付

ブセナ海中公園海域内に生息するエダコモンサンゴをメッシュポットに入れて、海草が繁茂する海域に植付を予定しています。



3

有性生殖を利用したサンゴの植付

ブセナ海中公園海域内に生息するハナヤサイサンゴの有性生殖を利用し、着床具に幼生を着床させ、植付を予定しています。



お問い合わせ先：ブセナ海中公園事業所 TEL：0980-52-3379 E-mail：busena@ocvb.or.jp
 営業時間：夏期（4～10月）9：00～18：00（最終入館17：30）冬期（11～3月）9：00～17：30（最終入館17：00）定休日：なし
 *海況により営業中止あり

「県内在住者限定割引」実施中！ 施設観覧料20%割引

沖縄県民の皆様にご当施設をご利用頂き、沖縄の魅力をも再発見して頂きたいと思っています。賛助会員皆様のご利用を心よりお待ちしております。※県内在住を証明できる免許証等の身分証明書を、チケット購入時にご提示ください。



旧海軍司令部壕

旧海軍司令部壕は、第二次世界大戦の末期、海軍が小禄飛行場（那覇空港）を守るために造った重要な軍事拠点であり、那覇市内、空港からも近い平和学習の場です。海軍壕公園は、東シナ海、那覇市街、首里城が展望できる高台にあり、琉球王国時代には「火番森（ヒバムイ）」と呼ばれ、中国や薩摩等からの来航を首里城に伝えるために「のろし」を上げる通信拠点でした。現在は市民の憩いの広場として、また恒久平和の祈りの場所として整備され、多くの市民に親しまれています。※現在大型遊具は再整備工事のため利用できません。

●SNSが人気です！！

2018年1月からX（旧Twitter）の利用を開始し、現在2,000名以上にフォローしていただくまでに成長してきました。特に今年に入り、1,000名以上のフォロワーが増え、工夫を凝らしながら戦争の悲惨さ、平和の尊さ、そして海軍壕公園の四季折々の様子などを日々アップしています。InstagramやFacebookも利用していますので、ぜひ下記よりフォロー、リポスト、タグ付け投稿をお願いいたします。



KAIGUNGO_OKINAWA

●令和6年度都市公園愛護活動を実施します

沖縄総合事務局、沖縄県及び各市町村主催の令和6年度沖縄都市緑化月間の趣旨に則り、都市公園及び街路樹等の整備保全を推進し、住民による緑豊かな街づくりを促進するため、海軍壕公園内では今年も住民参加による緑化活動を実施します。

○開催日時

令和6年10月23日（水）9：30～10：30

○開催場所

海軍壕公園 西遊び広場・ビジターセンター慰霊の広場

○活動内容

近隣のこども園や保育園からの子供たちが参加し、公園の緑化活動のため花壇へ花の苗の植え込み作業を実施します。

○昨年度の様子（沖縄海友会、近隣のこども園の子どもたちが参加）

昨年度は児童中心に137名が参加し、パチュニアやコスモス等700本の花の苗を植えました。残暑厳しい中、子供たちは暑さに負けず元気一杯に楽しそうに苗を植えていました！



旧海軍司令部壕Official @KaigungoJ · 6月14日
79年前の昨日、大田司令官と6名の幕僚が自決した司令官室。室内は立ち入り禁止となっておりますが柵外からの見学は可能です。海軍司令部が陸後遺骨収集を行った際には、壕内から約1000体、壕周辺からは約3000体のご遺骨が見つかりました。玉砕の名の通りほぼ全滅だった事が分かっています。

29万ビュー

22 774 4,194 29万

旧海軍司令部壕Official @KaigungoJ · 6月9日
・ノミによる戦力減耗は著しいものがある
・防臭、排便施設も事前研究の必要がある
敵に包囲され、外には出られず何百何千という人々でごった返す壕内。大量のノミ、便所がなく悪臭漂う壕内。激しく降り注ぐ艦砲射撃。海軍司令部壕は地獄絵図と化した。

16万ビュー

11 243 1,423 16万

お問い合わせ先：旧海軍司令部壕事業所
営業時間：9：00～17：00（最終入館16：30）年中無休
TEL：098-850-4055 E-mail：kaigungo@ocvb.or.jp

沖縄コンベンションセンターで沖縄初開催の大型展示会です！

スポーツ・レジャー設備・サービスがリゾートアイランド沖縄に集結

LSJ **レジャー&スポーツジャパン2025**
in Okinawa

会期 **2025.2.20(木)・21(金)** 会場 **沖縄コンベンションセンター**
主催 **TSO International株式会社**

同時開催(予定) 第13回 **スポーツツーリズム・コンベンション in 沖縄**
主催：一般社団法人日本スポーツツーリズム推進機構

展示会が沖縄で開催される意義

MICEは一般観光に比べて消費単価が高く、地域経済への高い波及効果が期待されています。沖縄県は2000年に開催された九州・沖縄サミット以降、リゾート性を有するMICE開催地として一定の地位を確立しています。しかし、MICEの「E(展示会)」については、県内のMICE施設の規模では、多様化・大型化する展示会のニーズに対応できていないことから、沖縄県は、2029年に大型MICE施設の供用開始を予定しています。現状を踏まえ、沖縄県産業振興公社と沖縄コンベンションセンターでは将来を見据えた大型展示会の誘致活動を展開しており、この度「レジャー&スポーツジャパン」の沖縄開催が決定しました。

レジャー&スポーツジャパンとは

LSJ 2023年度の観光客数853万人と人気を誇る沖縄では、解放感もあり日常と違う自然に触れられることから市場拡大続き、北部での60ヘクタールに及ぶ巨大テーマパーク開発やリゾートホテル・スパ・キャンプ場・グランピング施設に加え、温暖な気候により盛んなスポーツ合宿・スポーツ施設開発も活発に行われています。『レジャー&スポーツジャパン2025 in Okinawa』は日本最大のスポーツ・街づくり総合展『SPORTEC』と日本最大のテーマパーク・アウトドア・レジャー産業総合展『レジャー&アウトドアジャパン』のコラボレーションによりリゾート開発が盛んな沖縄レジャー・スポーツ業界の発展のために、リアルなコミュニケーションの場として、沖縄コンベンションセンターにて盛大に開催いたします。

レジャー&スポーツジャパンの3つの特徴

沖縄で初開催されるレジャー&スポーツジャパンには、レジャー/アウトドア/スポーツ振興に関わる有力企業が約100社が集結します。レジャー施設、ホテル、リゾート施設、スポーツ誘致、合宿場、アウトドア施設などのオペレーター3,000名にダイレクトに売り込めます。

沖縄の事業者 **3,000**※人が集まる



有力企業 **100**※社が集まる



投資の盛んな沖縄の現地を **リアルに体験**



お問い合わせ先：沖縄コンベンションセンター(OCC)

受付時間 9:00~17:00 休館日 年末年始・(他有) TEL:098-898-3000 FAX:098-898-2202

公式HP：<http://www.oki-conven.jp/> メール：info@oki-conven.jp

事業名	事業の内容	対象業界	公式HP	担当部署
1 観光人材マッチング支援事業	国内外での合同就職説明会の開催、インターンシップの受入促進、観光現場で働く魅力を発信する広報や、職場見学ツアー、職業体験イベント等を行うことにより、観光業界の持続的発展に繋がる人材の確保・定着を図ることを目的とする。 ①合同就職説明会等の実施 ②職場訓練（インターン）の受入促進 （往復分の渡航費等支援あり） ③職場見学バスツアーの実施 ④お仕事体験イベント(親子参加型)の開催 ⑤観光現場で働く魅力を伝える広報	観光業界	http://staging.kan-koujinzai-okinawa.com/	
2 令和6年度 沖縄県観光事業者収益力向上サポート事業	現場における人材不足に対応するため、観光事業者が人材不足を補うために実施する設備投資やシステム構築などの無人化・省人化に向けた取組を支援する。 ※三次公募が始まりました。 全メニュー共通 申請締切：令和6年10月18日(金)正午 ①大規模メニュー 従業員数250人以上……上限額 8 5 0 万円 ②中規模メニュー 従業員数50人～249人 ……上限額 4 5 0 万円 ③小規模メニュー 従業員数50人未満 ……上限額 8 5 万円	観光業界	https://www.ocvb.or.jp/support/4293	
3 令和6年度観光人材受入等支援事業	観光事業者が行う国内外からの観光人材の受入にかかる取組を支援する。 【対象経費】 ・就職説明会の出展経費、求人広告費用など 採用活動時に要する経費 ・新たに採用する人材の渡航費 ・資格取得の支援にかかる経費 ・人材紹介にかかる手数料（補助率1/2） 【対象期間】 令和6年4月1日～令和6年12月31日までに要する経費 【申請締切】期限を延長しました。 令和6年8月30日⇒10月31日(木)に延長	観光業界	https://kankoujin-zai-ukeireshien-okinawa.com/	文化観光スポーツ部 観光振興課 TEL 098-866-2764
4 観光人材住居確保支援事業	海外・県外等の遠隔地から人材を受け入れるにあたって、従業員の住居を確保する際に必要な費用の一部を補助し、観光業界の持続的発展につながる人材の確保・定着を図る。 【対象経費】 ・住居確保時に必要な初期費用(礼金・仲介手数料) ・最大6か月分の家賃 ※上限 単身世帯1世帯当たり 300,000円 家族世帯1世帯当たり 400,000円 【対象期間】 令和6年4月1日～令和7年1月31日までに要する経費 【対象となる人材】 令和6年1月1日以降に、県外・海外から新たに受け入れた人材 【公募期間】 令和6年9月19日(木)～令和6年10月31日(木)	観光業界	https://kankoujin-zai-ukeireshien-okinawa.com/	
5 令和6年度MICE受入体制強化等事業 専門アドバイザー派遣	多様化したMICEのニーズに対応するため、専門アドバイザーを派遣し、MICE関連事業者が抱える課題解決をサポートする。 【課題例】 ・商品やサービスを主催者や旅行会社にPRする方法 ・既存コンテンツをMICE向けにするにはどうしたらよいか ・MICE受入時の対応方法について 【対象期間】令和6年4月～令和7年2月末 ※予算上限に達し次第×切 【対象者】沖縄県内の事業者 【派遣回数】4回程度 【派遣料】無料	全事業者	https://mice.okinawastory.jp/information/post-40678/	文化観光スポーツ部 MICE推進課 TEL098-866-2077

◇マリナー・スポーツ(会員様数:20)

ザ・サザンリンクスゴルフクラブ (株式会社アコーディアAH02)

かねひで喜瀬カントリークラブ

株式会社シーサー (マリンハウスシーサー)

有限会社トップマリン残波

TOTAL MARINE SPOT NEWS

有限会社ぶしいぬしま

mic21株式会社

アプリシエイト

スカイスポーツプランニング ブルースカイ

有限会社タイト

一般財団法人健康科学財団

株式会社パティ・アジア・パシフィックジャパン

株式会社シーポール (マリンクラブUMI)

黒潮潜水 (株式会社Hearly)

株式会社ベイスオブスポーツ

株式会社南洋社中 (沖縄海あしび)

株式会社NASH

株式会社ブルーフィールド

ダイビングサービスジャミング

有限会社やんばる自然塾

◇卸・小売・販売(会員様数:31)

オリオンビル株式会社

くーすの社 忠孝蔵

まさひろ酒造株式会社

株式会社サンエー

株式会社ブラザハウス

株式会社奥原商事

パイブニット株式会社

笹尾商工株式会社アウトドアショップNEOS

沖縄食糧株式会社

オキコ株式会社

株式会社フジタカクリエイション

パナソニック コンシューマーマーケティング沖縄株式会社

株式会社チェリオ沖縄

株式会社JTB商事

株式会社沖縄伊藤園

サントリーフーズ沖縄株式会社

株式会社サッポロドラッグストア

株式会社ホクガン

株式会社ジュネ

福山商事株式会社

有限会社比嘉酒造

瑞泉酒造株式会社

株式会社ジムキ文明堂

株式会社久米島の久米仙

沖縄コカ・コーラボトリング株式会社

コジマ×ビックカメラ那覇店

株式会社CHKIT

株式会社エス・ティ商事

プロモスジャパン株式会社

(株)サガミトレーディングオキナワ

ecowana

◇人材派遣・翻訳・通訳(会員様数:9)

株式会社リクルートライフスタイル沖縄

有限会社オフィスアイシー

株式会社プレンティ

株式会社沖縄リレーションシップ

株式会社チャイナゲートウェイ

株式会社マイナビ 沖縄支社

株式会社沖縄コングレ

株式会社アルアルシー

株式会社サポースタッフ沖縄

株式会社ビジネスランド

琉球警備保障株式会社

株式会社りゅうせき

医療法人タビック

株式会社オリエンタルコンサルタンツ 沖縄支社

株式会社沖縄ダイケン

有限会社沖縄花火

株式会社住太郎ホーム

株式会社沖縄第一興商

株式会社地域ブランディング研究所 (Attractive JAPAN)

株式会社ネオックスワン

美浜リアルエステート株式会社

リゾートベビーシッターサービス ワールドキッズ

沖縄の風合同会社

吉本興業株式会社(よしもとエンタテインメント沖縄)

レンタル琉装veni

NPO法人那覇市街角ガイド

株式会社シナジーBP

日琉リネンサプライ株式会社

コーユーレンタリア株式会社 沖縄営業所

株式会社IGLOO

SYLジャパン株式会社

株式会社ゆがふホールディングス

沖縄体験エライカナイ

沖縄アリーナ株式会社

株式会社イノアック琉球

株式会社東洋設備

有限会社朝日興業企画

株式会社INFORICH

◇イベント・ウェディング・舞台関係(会員様数:12)

沖縄ワタベウェディング株式会社

株式会社ブライダルハウスデュチュン沖縄

有限会社池宮商事

株式会社沖縄ハートス

株式会社琉球広報

有限会社サウスエリア

有限会社インプレスト

株式会社ブリックス

かりゆしウェディングANNE

株式会社ケイツープランニング

サニーズウェディング

一般社団法人沖縄リゾートウェディング協会

◇学術・研究・コンサル(会員様数:6)

株式会社おきぎん経済研究所

株式会社DUO

株式会社エス・ビー・ネットワーク沖縄営業所

株式会社りゅうぎん総合研究所

公益財団法人日本交通公社(JTBF)

オフィスKIBOU株式会社

◇企業・その他(会員様数:41)

あいあいウェディング沖縄 (㈱アメニティ)

株式会社アイレント

IMAGÉ 株式会社アルファースリー

沖縄ガス株式会社

沖縄セルラー電話株式会社

富士フィルムBI沖縄株式会社

沖縄総合警備保障株式会社

沖縄綿久寝具株式会社

株式会社DMC沖縄

株式会社桃原農園

那覇空港ビルディング株式会社

株式会社日進商会(MAJUN OKINAWA)

OCVB 賛助会員募集中!

OCVBは、「沖縄観光のプロフェッショナルとして県経済発展の推進役を担い、観光を通じた県民の幸せづくりに貢献する」ことを基本理念としています。

●会員サービス

- 迅速な情報提供**
- ①OCVBからの迅速な情報発信、相互情報発信を目的とした「賛助会員交流掲示板」への参加
 - ②月1回発行「OCVB News」早期配信

- 各種イベントのご案内**
- ①OCVB事業説明会・交流会
 - ②OCVB新春の集い
 - ③各種講演会、セミナーの開催

- PRする場のご提供**
- ①OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内における企業情報掲載
 - ②OCVB交流サロンならびに東京事務所パンフレットラックの利用(無料)
 - ③OCVBサイト(当サイト)の「賛助会員情報」内におけるパンフレットデータの公開

●年会費
基本会費：1口 50,000円

●賛助会員制度について
お問い合わせ先：OCVB 賛助会員事務局
TEL：098-859-6124 詳しくは、<http://www.ocvb.or.jp/organization/member>



より良いOCVB newsを作っていくため、読者アンケートにご協力をお願いいたします。
<https://forms.office.com/r/KM5eJhv6QS>

